

# 平成24年度 全国学力・学習状況調査

## 調査結果のポイントについて

### ～ 北海道（公立）における抽出調査結果～

本資料は、国が公表した調査結果のうち、「平成24年度 全国学力・学習状況調査調査結果のポイント」に示された全国の調査結果に基づき、現時点において、全国と本道の公立学校における調査結果の比較ができるように取りまとめた概要を掲載したものである。

1 . 調査の概要	2
2 . 結果の概要	3
教科に関する調査	
児童生徒質問紙調査	
学校質問紙調査	
3 . 教科に関する調査	
小学校＜国語・算数・理科＞	5
中学校＜国語・数学・理科＞	18
過去の調査問題との比較＜国語、算数・数学＞	34
4 . 質問紙調査	
児童生徒質問紙	
・学習に対する関心・意欲・態度	41
・学習時間等	46
・基本的な生活習慣	49
・家庭でのコミュニケーション	50
学校質問紙	
・家庭学習	51
・指導方法	54
・学力向上の取組	57
・学習時間等	59
・調査の活用	60
理科関連の新規項目（児童生徒質問紙）	
・関心・意欲・態度	62
・体験・学習・活用	64
・観察・実験	66
理科関連以外の新規項目（児童生徒質問紙）	
・地域や異年齢との交流	69
理科関連の新規項目（学校質問紙）	
・指導方法	70
・観察・実験	72
・コンピュータなどを活用した教育	75
・家庭学習の課題（宿題）	76
理科関連以外の新規項目（学校質問紙）	
・特別支援教育	79
・小学校教育と中学校教育の連携	79
・集団宿泊活動	80

# 1. 調査の概要

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
 そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。  
 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

## 2 調査の対象学年

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年  
 中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

## 3 調査の内容

教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）  
 ・主として「知識」に関する問題〔国語A、算数・数学A、理科〕  
 ・主として「活用」に関する問題〔国語B、算数・数学B、理科〕  
 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査  
 ・児童生徒に対する調査 ・学校に対する調査

## 4 調査の方式

抽出調査及び希望利用方式（抽出調査の抽出率は約30%）

## 5 調査期日

平成24年4月17日（火）

## 6 平成24年4月17日（火）に調査を実施した学校・児童生徒数

北海道（公立）			〔参考〕全国（公立）				
	対象学校数(校)	学校数(校)(抽出率)	児童生徒数(人)		対象学校数(校)	学校数(校)(抽出率)	児童生徒数(人)
小学校	1,146	224(19.5%)	8,561	小学校	20,783	5,140(24.7%)	255,186
中学校	643	235(36.5%)	16,100	中学校	9,963	4,296(43.1%)	424,379
合計	1,789	459(25.7%)	24,661	合計	30,746	9,436(30.7%)	679,565

小学校には特別支援学校小学部を、中学校には特別支援学校中学部を含む  
 札幌市を含む

## 【用語説明】

語句	説明
平均正答率	平均正答数を百分率で表示。 国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学B、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）。 学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率。
平均正答率の95%信頼区間	95%の確率で、全員を対象とした調査（悉皆調査）の場合の平均正答率が含まれる範囲。
中央値	集団のデータを大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。 平均値とともに集団における代表値としてとらえられる。
標準偏差	集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。標準偏差が0とは、ばらつきがない（データの値がすべて同じ）ことを意味する。分布が正規分布になっていると仮定すると、「平均±標準偏差」の間に全体の約70%のデータが含まれる。

## 【調査結果の解釈等に関する留意事項】

本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

本調査は抽出調査であり、各都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となるように標本抽出が行われているため、推計値である集計値については、全国（国・公・私立）の教科に関する調査及び児童生徒に対する質問紙調査については誤差±0.2%程度、学校質問紙調査については誤差±1%程度並びに各都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となっていることに留意する必要がある。

本調査の結果においては、平均正答数、平均正答率等の数値を示しているが、これらの数値のみでは必ずしも調査結果のすべてを表すものではなく、平均正答率の95%信頼区間、中央値、標準偏差等の数値や分布の状況を表すグラフの形状など他の情報と合わせて総合的に結果を分析・評価する必要がある。また、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

## 2. 結果の概要

### 教科に関する調査

小・中学校いずれの教科においても、依然として全国の平均正答率を下回っているものの、平成22年度の調査結果との比較においては、中学校国語Aを除く全ての教科において、全国平均との差が縮まっている傾向にある。

中学校においては、昨年度と同様に、小学校よりも全国との差が小さい傾向にある。特に国語Bにおいては、全国とわずかな差（-0.2ポイント）となっている。

全国平均との差が最も大きい教科は、小学校の算数Aで-4.4～-3.1ポイント（平均正答率では-3.7ポイント）である。

過去の同一問題及び類似問題との比較では、合計49問中37問で、全国との差が小さくなった。

### 平成24年度調査 各教科の平均正答率

		小学校					中学校				
		小学校国語A	小学校国語B	小学校算数A	小学校算数B	小学校理科	中学校国語A	中学校国語B	中学校数学A	中学校数学B	中学校理科
平均正答率	道	79.0	53.5	69.6	55.8	58.8	74.2	63.1	60.8	48.1	50.5
	国	81.6	55.6	73.3	58.9	60.9	75.1	63.3	62.1	49.3	51.0
95%の信頼区間	道	78.3~79.6 (-3.1~-2.1)	52.6~54.4 (-2.8~-1.4)	68.7~70.4 (-4.4~-3.1)	54.7~56.8 (-4.0~-2.3)	58.0~59.6 (-2.8~-1.5)	73.6~74.8 (-1.4~-0.4)	62.4~63.8 (-0.8~-0.4)	59.9~61.6 (-2.1~-0.7)	47.1~49.1 (-2.1~-0.4)	49.8~51.3 (-1.1~-0.2)
	国	81.4~81.7	55.4~55.8	73.1~73.5	58.7~59.1	60.8~61.1	75.0~75.2	63.2~63.4	62.0~62.3	49.2~49.5	50.9~51.1
平均正答数	道	13.4問 / 17問	5.9問 / 11問	13.2問 / 19問	7.2問 / 13問	14.1問 / 24問	23.8問 / 32問	5.7問 / 9問	21.9問 / 36問	7.2問 / 15問	13.1問 / 26問
	国	13.9問 / 17問	6.1問 / 11問	13.9問 / 19問	7.7問 / 13問	14.6問 / 24問	24.0問 / 32問	5.7問 / 9問	22.4問 / 36問	7.4問 / 15問	13.3問 / 26問

#### 【参考 平成22年度（北海道抽出）】

		小学校				中学校			
		小学校国語A	小学校国語B	小学校算数A	小学校算数B	中学校国語A	中学校国語B	中学校数学A	中学校数学B
平均正答率	道	79.9	73.5	68.8	45.1	74.7	62.9	62.7	41.2
	国	83.3	77.8	74.2	49.3	75.1	65.3	64.6	43.3
95%の信頼区間	道	79.1~80.6 (-4.1~-2.9)	72.5~74.6 (-5.2~-3.4)	67.8~69.9 (-6.2~-4.5)	44.1~46.1 (-5.0~-3.4)	74.1~75.3 (-0.9~0.1)	62.1~63.7 (-3.0~-1.8)	61.8~63.6 (-2.6~-1.2)	40.1~42.4 (-3.0~-1.1)
	国	83.2~83.5	77.7~78.0	74.0~74.4	49.1~49.5	75.0~75.2	65.1~65.5	64.4~64.8	43.1~43.5
平均正答数	道	12.0問 / 15問	7.4問 / 10問	13.1問 / 19問	5.4問 / 12問	26.2問 / 35問	6.3問 / 10問	22.6問 / 36問	5.8問 / 14問
	国	12.5問 / 15問	7.8問 / 10問	14.1問 / 19問	5.9問 / 12問	26.3問 / 35問	6.5問 / 10問	23.3問 / 36問	6.1問 / 14問

#### < 平均正答率の全国（公立）との差 >

	小国語A	小国語B	小算数A	小算数B	中国語A	中国語B	中数学A	中数学B
H24	-2.6	-2.1	-3.7	-3.1	-0.9	-0.2	-1.3	-1.2
H22	-3.4	-4.3	-5.4	-4.2	-0.4	-2.4	-1.9	-2.1
H24 - H22	0.8	2.2	1.7	1.1	-0.5	2.2	0.6	0.9

#### < 過去の同一問題や類似問題 >

	小国語A	小国語B	小算数A	小算数B	中国語A	中国語B	中数学A	中数学B	合計
過去の同一問題や類似問題数	3	7	11	1	4	3	18	2	49
全国との差が小さくなった問題数	2	5	8	0	2	2	16	2	37
全国との差が大きくなった問題数	1	1	2	0	0	0	1	0	5
その他の問題数	0	1	1	1	2	1	1	0	7

その他の問題とは、全国との差がなかった問題及び、過去の類似問題が複数ありどちらにも当てはまる問題を表す。

## 児童生徒質問紙調査

( )内は掲載ページと質問番号

国語の勉強が好きな児童生徒の割合は、小学校で62.9%、中学校で58.0%であり、昨年度と比較し、小学校で高く、中学校で同様の傾向(小+8.2、中-2.0)。全国(公立)と比較し、小学校及び中学校で同様の傾向(小-0.1、中-0.6)。(P41上段:小45、中45)

算数・数学の勉強が好きな児童生徒の割合は、小学校で63.6%、中学校で53.3%であり、昨年度と比較し、小学校で若干高く、中学校で高い(小+3.1、中+5.0)。全国(公立)と比較し、小学校及び中学校で同様の傾向(小-1.3、中+1.2)。(P41下段:小56、中56)

理科の勉強が好きな児童生徒の割合は、小学校で82.5%、中学校で66.2%であり、全国(公立)と比較し、小学校で同様の傾向、中学校で高い(小+1.0、中+4.6)。(P42上段:小67、中67)

1日あたり1時間以上勉強する児童生徒の割合は、小学校で47.3%、中学校で58.8%であり、昨年度と比較し、小学校で高く、中学校で低い(小+5.4、中-5.1)。全国(公立)と比較し、小学校及び中学校で低い(小-12.2、中-7.6)。(P46上段:小14、中14)

家で宿題をする児童生徒の割合は、小学校で94.4%、中学校で85.3%であり、昨年度と比較し、小学校及び中学校で高い(小+5.1、中+7.2)。全国(公立)と比較し、小学校及び中学校で同様の傾向(小-2.6、中-0.4)。(P46下段:小24、中24)

1日あたり3時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたり(テレビゲーム除く)する児童生徒の割合は、小学校で46.6%、中学校で35.9%であり、昨年度と比較し、小学校及び中学校で同様の傾向(小+0.2、中-1.6)。全国(公立)と比較し、小学校及び中学校で高い(小+3.9、中+3.4)。(P47上段:小10、中10)

1日あたり3時間以上、テレビゲームをする児童生徒の割合は、小学校で16.9%、中学校で16.0%であり、昨年度と比較し、小学校及び中学校で同様の傾向(小+0.3、中-0.7)。全国(公立)と比較し、小学校及び中学校で高い。(小+4.3、中+4.6)。(P47下段:小11、中11)

読書が好きな児童生徒の割合は、小学校で73.5%、中学校で72.7%であり、昨年度と比較し、小学校で高く、中学校で若干高い(小+5.3、中+3.9)。全国(公立)と比較し、小学校で同様の傾向、中学校で高い(小+0.9、中+3.0)。(P48上段:小48、中48)

1日に7時間以上9時間より少ない範囲で睡眠をとる児童生徒の割合は、小学校で48.2%、中学校で58.7%であり、昨年度と比較し、小学校で低く、中学校で高い(小-5.2、中+5.8)。全国(公立)と比較し、小学校で低く、中学校で同様の傾向(小-6.0、中+2.3)。(P49下段:小9、中9)

## 学校質問紙調査

( )内は掲載ページと質問番号

国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた学校で、「よく行った」学校の割合は、小学校で59.4%、中学校で30.8%であり、昨年度と比較し、小学校で若干低く、中学校で同様の傾向(小-4.0、中+0.9)。全国(公立)と比較し、小学校及び中学校で低い(小-19.8、中-13.3)。(P51上段:小76、中73)

算数・数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた学校で、「よく行った」学校の割合は、小学校で62.5%、中学校で40.5%であり、昨年度と比較し、小学校で同様の傾向、中学校で若干高い(小-2.4、中+4.3)。全国(公立)と比較し、小学校及び中学校で低い(小-18.2、中-8.6)。(P52上段:小80、中77)

理科の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた学校で、「よく行った」学校の割合は、小学校で4.0%、中学校で16.5%であり、全国(公立)と比較し、小学校で同様の傾向、中学校で低い(小-0.7、中-3.8)。(P53上段:小86、中83)

「朝の読書」などの一斉読書の時間を週に1回以上定期的に設けている学校の割合は、小学校で87.5%、中学校で72.5%であり、昨年度と比較し、小学校及び中学校で高い(小+5.2、中+5.0)。全国(公立)と比較し、小学校で同様の傾向、中学校で低い(小-2.5、中-9.6)。(P57上段:小17、中17)

算数・数学の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした学校の割合は、小学校で51.3%、中学校で46.0%であり、昨年度と比較し、小学校及び中学校で高い(小+7.8、中+5.0)。全国(公立)と比較し、小学校で同様の傾向、中学校で高い(小-2.3、中+6.2)。(P58上段:小41、中41)

放課後を利用した補充的な学習サポートを、週1回以上行った学校の割合は、小学校で29.5%、中学校で20.4%であり、昨年度と比較し、小学校で同様の傾向、中学校で低い(小-0.8、中-5.9)。全国(公立)と比較し、小学校及び中学校で同様の傾向(小±0.0、中-2.2)。(P59上段:小19、中19)

長期休業日を利用した補充的な学習サポートを、延べ5日以上行った学校の割合は、小学校で27.8%、中学校で62.9%であり、昨年度と比較し、小学校で高く、中学校で同様の傾向(小+5.9、中-0.4)。全国(公立)と比較し、小学校及び中学校で同様の傾向(小-0.3、中+1.4)。(P59下段:小21、中21)

教科の指導内容や指導方法について、近隣の小・中学校と連携を行っている学校の割合は、小学校で63.4%、中学校で75.3%であり、全国(公立)と比較し、小学校で低く、中学校で同様の傾向(小-14.1、中-2.9)。(P79下段:小68、中66)

### 3. 教科に関する調査

#### ○ 小学校国語A

##### 【概要】

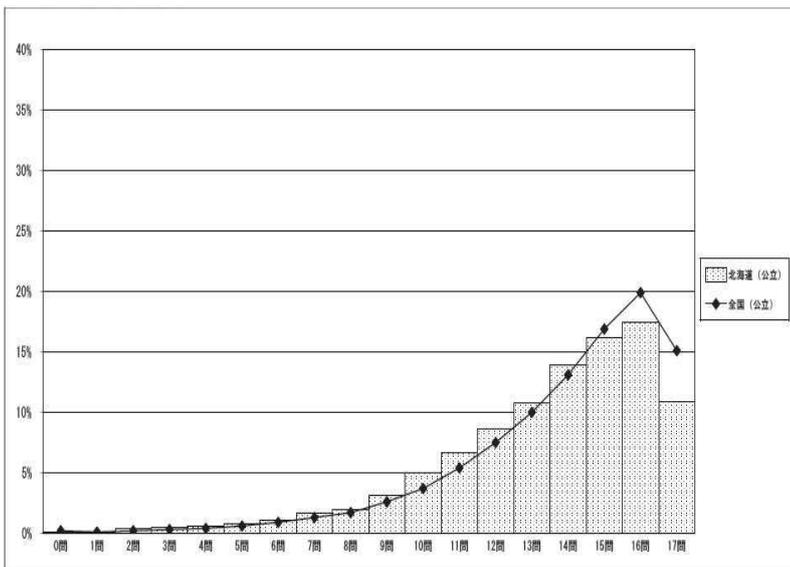
○ 平均正答率が(78.3%-79.6%(79.0%))であり、全国と比べると(-3.1~-2.1(-2.6))ポイント低く、今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる必要がある。

〔平均正答率〕 道 : H24(78.3%-79.6%)(平均正答率:79.0%) ← H22(79.1%-80.6%)(平均正答率:79.9%)  
 全国 : H24(81.4%-81.7%)(平均正答率:81.6%) ← H22(83.2%-83.5%)(平均正答率:83.3%)

##### 【平成24年度】国語A

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	8,557人	13.4問/17問	79.0%	78.3%-79.6%	14.0問	3.0
全国	255,180人	13.9問/17問	81.6%	81.4%-81.7%	15.0問	2.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



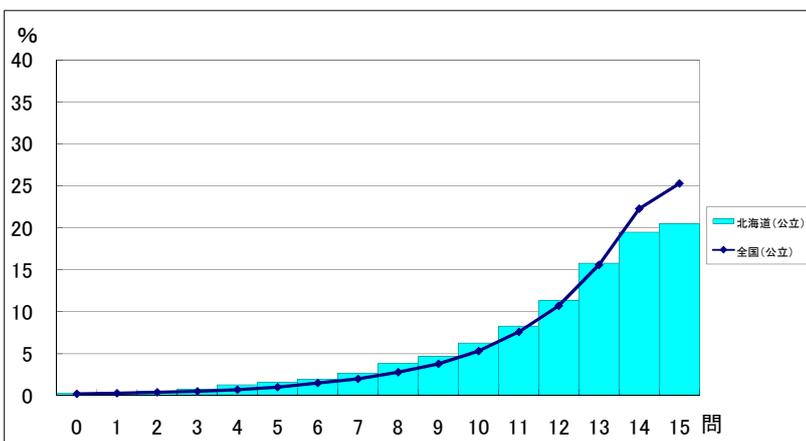
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	77.6	79.4
	書くこと	2	53.8	57.5
	読むこと	4	80.0	82.1
評価の観点	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	83.4	86.3
	国語への関心・意欲・態度	1	38.8	43.2
	話す・聞く能力	3	77.6	79.4
	書く能力	2	53.8	57.5
問題形式	読む能力	4	80.0	82.1
	言語についての知識・理解・技能	9	83.4	86.3
	選択式	4	69.8	72.5
	短答式	13	81.8	84.3
	記述式	0		

##### 【平成22年度】国語A

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	9,122人	12.0問/15問	79.9%	79.1%-80.6%	13.0問	3.0
全国	264,182人	12.5問/15問	83.3%	83.2%-83.5%	13.0問	2.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



# ○ 小学校国語B

## 【概要】

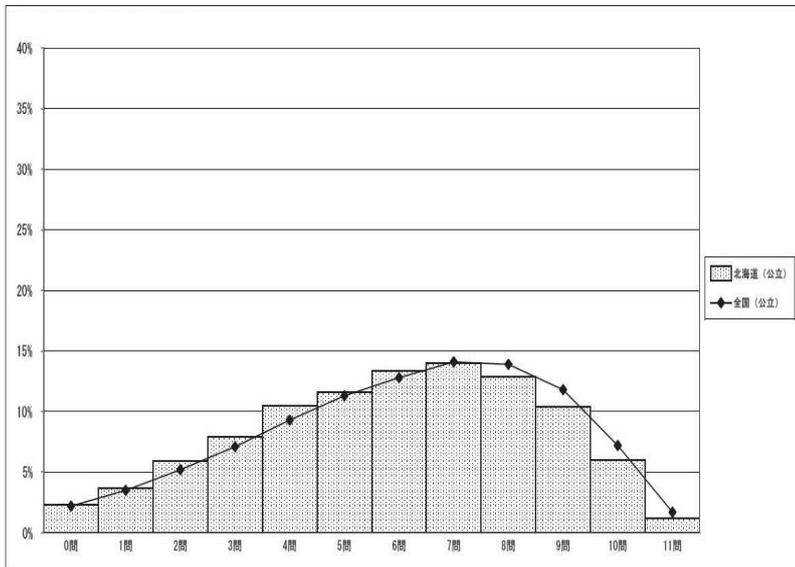
○ 平均正答率が（52.6%-54.4%（53.5%））であり、全国と比べると（-2.8~-1.4（-2.1））ポイント低く、今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を活用する能力を身に付けさせる必要がある。

〔平均正答率〕 道 : H24（52.6% - 54.4%）（平均正答率：53.5%） ← H22（72.5%-74.6%）（平均正答率：73.5%）  
 全国 : H24（55.4% - 55.8%）（平均正答率：55.6%） ← H22（77.7%-78.0%）（平均正答率：77.8%）

## 【平成24年度】国語B

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	8,559人	5.9問/11問	53.5%	52.6%-54.4%	6.0問	2.6
全国	255,139人	6.1問/11問	55.6%	55.4%-55.8%	6.0問	2.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



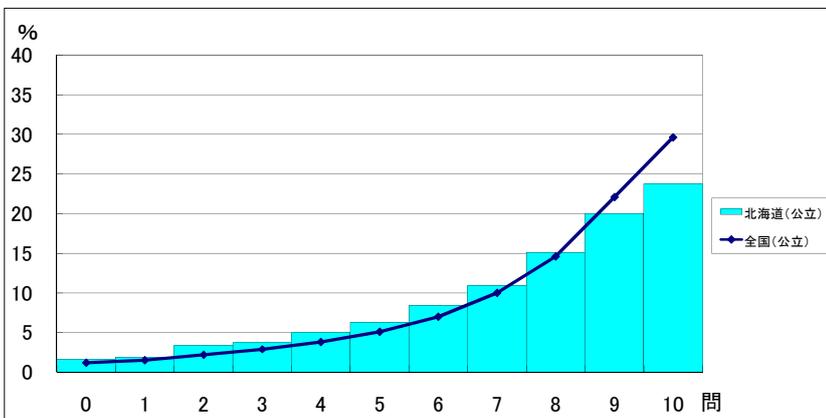
分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	60.2	63.0
	書くこと	5	43.6	46.8
	読むこと	5	54.2	55.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	51.3	55.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	44.2	48.5
	話す・聞く能力	3	60.2	63.0
	書く能力	5	43.6	46.8
	読む能力	5	54.2	55.7
	言語についての知識・理解・技能	1	51.3	55.2
問題形式	選択式	7	59.0	60.1
	短答式	1	42.9	45.0
	記述式	3	44.2	48.5

## 【平成22年度】国語B

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	9,121人	7.4問/10問	73.5%	72.5%-74.6%	8.0問	2.6
全国	264,170人	7.8問/10問	77.8%	77.7%-78.0%	9.0問	2.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)

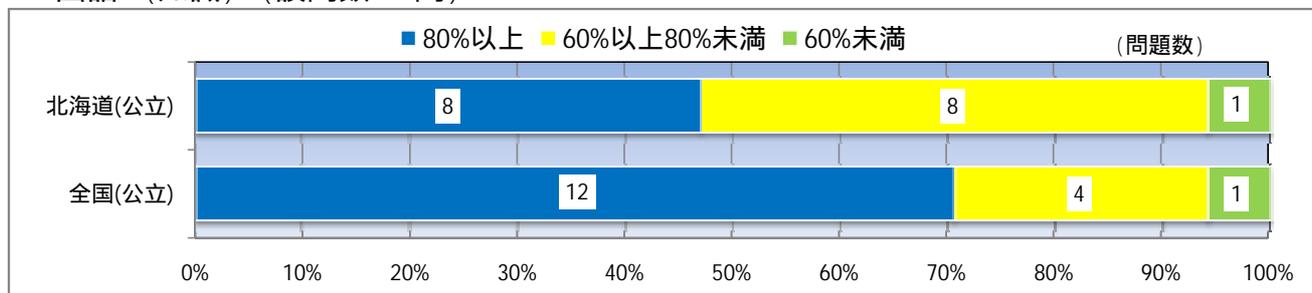


# 設問別の正答率の状況

## 【小学校国語】

国語A(知識)について、正答率80%以上は、17問中8問であり、正答率60%未満は、1問であった。  
 国語B(活用)について、正答率80%以上は、11問中2問であり、正答率60%未満は、8問であった。

### 1 国語A(知識) (設問数17問)



#### < 平均正答率が全国を上回っている設問 > (1問/17問)

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
1一(3)	言語事項	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	95.4%	95.2%	0.2

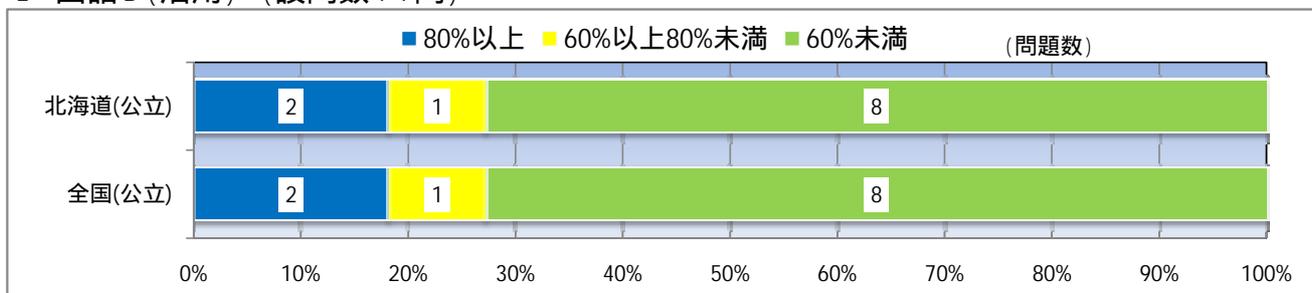
#### < 平均正答率が全国を下回っている設問 > (16問/17問)

16問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
1二(1)	言語事項	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	76.2%	83.1%	-6.9
9二	言語事項	学年別漢字配当表に示されている漢字を筆順に従って正しく書く	76.2%	81.4%	-5.2

平均正答率が全国と同じ設問は0問

### 2 国語B(活用) (設問数11問)



#### < 平均正答率が全国を上回っている設問 > (0問/11問)

#### < 平均正答率が全国を下回っている設問 > (11問/11問)

11問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
2二	話すこと・聞くこと 書くこと	資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にして発表する	47.1%	52.6%	-5.5
1二	書くこと 言語事項	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、内容の中心を明確にして書く	51.3%	55.2%	-3.9

平均正答率が全国と同じ設問は0問

[小学校国語A]設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1ー(1)	漢字を読む (新しいビルを建築する)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む												88.5	1.4	89.3	1.3
1ー(2)	漢字を読む (親から独立してくらす)													90.9	3.0	92.1	2.4
1ー(3)	漢字を読む (参加することを証す)													95.4	1.5	95.2	1.3
1二(1)	漢字を書く (病院でいしやにみてもらう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く												76.2	7.5	83.1	4.2
1二(2)	漢字を書く (東からないようがのぼる)													77.8	2.7	82.8	1.6
1二(3)	漢字を書く (白いぬのを青くそめる)													87.0	6.9	90.5	4.2
2	話し手の話の内容を聞きながら書いた質問について、その狙いを適切に説明したものを選択する	狙いを明確にして質問をする												62.1	0.6	65.2	0.6
3ア	収集した情報を関係付けながら話し合い、整理した図の中から適切な内容を取り出して書く	目的に応じ、収集した情報を関係付けながら話し合う												91.9	0.9	92.5	0.9
3イ	収集した情報を関係付けながら話し合い、整理した図の中から共通する内容を取り出して書く													78.7	1.1	80.4	1.1
4	四つの会話文の音読の仕方として適切なものをそれぞれ選択する	場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら音読する												70.0	0.6	73.3	0.6
5ア	百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を取り出して書く	百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を捉える												90.4	1.4	91.1	1.5
5イ														90.8	1.9	92.2	1.7
6	創作した物語の語り手が寄り添っている人物として適切なものを選択する	表現の効果について確かめながら物語を創作する												68.8	1.4	71.8	1.4
7	新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く	目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書く												38.8	8.9	43.2	7.5
8	日常生活で使われている慣用句を集め、それらの意味を適切に捉える	日常生活で使われている慣用句の意味を正しく理解する												78.3	7.5	79.7	6.6
9一	学年別漢字配当表に示されている漢字(申)の正しい筆順を適切に捉える	学年別漢字配当表に示されている漢字を筆順に従って正しく書く												80.5	8.0	82.7	6.7
9二	学年別漢字配当表に示されている漢字(赤)の正しい筆順を適切に捉える													76.2	8.6	81.4	7.0

【小学校国語B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道 (公立)		全国 (公立)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1ー	目的や意図に応じ、依頼する具体的な内容として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、書く事柄を整理する													63.3	2.3	64.8	2.4
1二	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、内容の中心を明確にして書く													51.3	8.7	55.2	7.0
1三	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置を適切に選択する	手紙の構成を理解し、後付けを書く													22.3	2.4	23.5	2.1
2ー	参加者から出された質問の内容を適切に捉え、まとまりごとに整理する	司会として収集した情報を捉え、まとまりごとに整理する													83.1	3.2	84.3	2.5
2二	提示された資料を読み取った上で、相手に対して質問をしたい内容を明確にして発表するように記述する	資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にして発表する													47.1	19.0	52.6	14.5
2三	話合いの目的を再確認し、計画的に話合いを進めようとする司会の役割を適切に説明したものを選択する	司会として話合いの目的を再確認し、計画的に話合いを進める													50.4	8.4	52.2	7.6
3ーア	雑誌の特徴の説明として適切なものを選択する	目的に応じ、雑誌や読んだ記事の特徴を捉える													87.2	2.8	87.3	2.6
3ーイ	記事の特徴の説明として適切なものを取り出して書く														42.9	10.1	45.0	9.0
3二	編集者の意図を説明したものとして適切なものを選択する	編集者の意図を捉える													50.7	4.4	51.0	3.8
3三	目的に応じ、複数の記事を結び付けながら読もうとするとき、該当する記事の見出しとして適切なものを選択する	目的に応じ、記事を結び付けながら読む													56.3	4.6	57.6	4.2
3四	二つの記事に書かれている内容を結び付けながら読み、理由となる事実を基にして自分の考えを記述する	複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えをもつ													34.2	21.0	37.7	17.0

## ○ 小学校算数A

### 【概要】

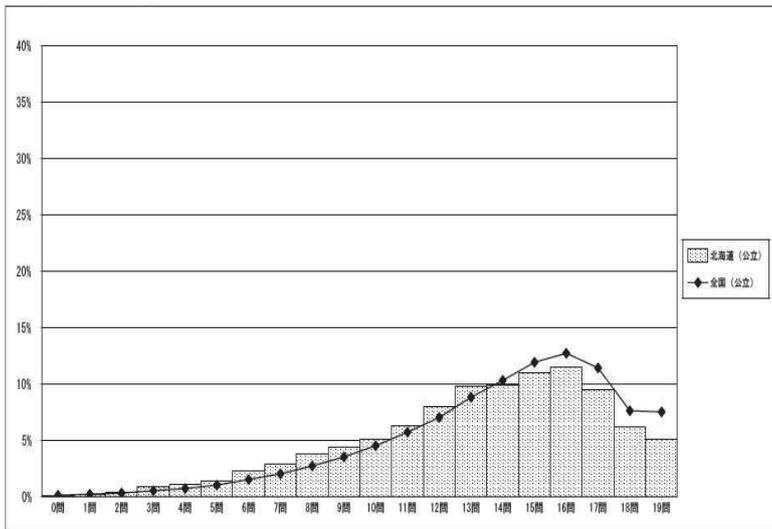
○ 平均正答率が(68.7%-70.4%(69.6%))であり、全国と比べると(-4.4~-3.1(-3.7))ポイント低く、今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を更に身に付けさせる必要がある。

[平均正答率] 道 : H24(68.7%-70.4%)(平均正答率:69.6%) ← H22(67.8%-69.9%)(平均正答率:68.8%)  
 全国 : H24(73.1%-73.5%)(平均正答率:73.3%) ← H22(74.0%-74.4%)(平均正答率:74.2%)

### 【平成24年度】算数A

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	8,559人	13.2問/19問	69.6%	68.7%-70.4%	14.0問	3.8
全国	255,186人	13.9問/19問	73.3%	73.1%-73.5%	15.0問	3.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



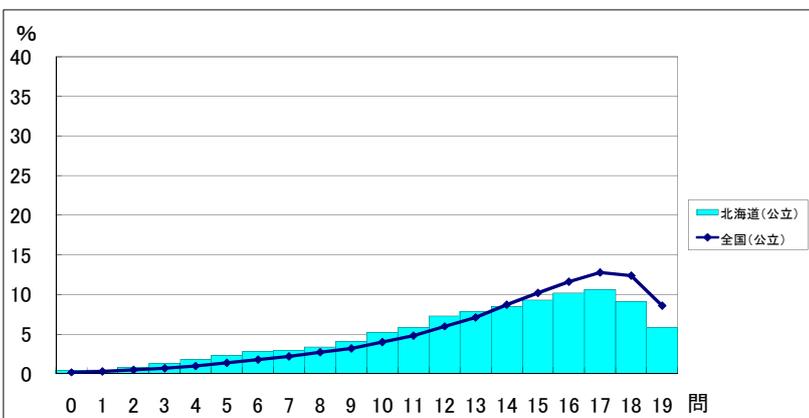
分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	数と計算	10	71.7	75.0
	量と測定	4	67.7	71.7
	図形	3	67.5	72.6
評価の観点	数量関係	3	70.8	74.4
	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	0		
	数量や図形についての技能	8	81.6	84.9
問題形式	数量や図形についての知識・理解	11	60.8	64.9
	選択式	4	54.7	58.5
	短答式	15	73.5	77.2
	記述式	0		

### 【平成22年度】算数A

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	9,122人	13.1問/19問	68.8%	67.8%-69.9%	14.0問	4.3
全国	264,193人	14.1問/19問	74.2%	74.0%-74.4%	15.0問	4.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



## ○ 小学校算数B

### 【概要】

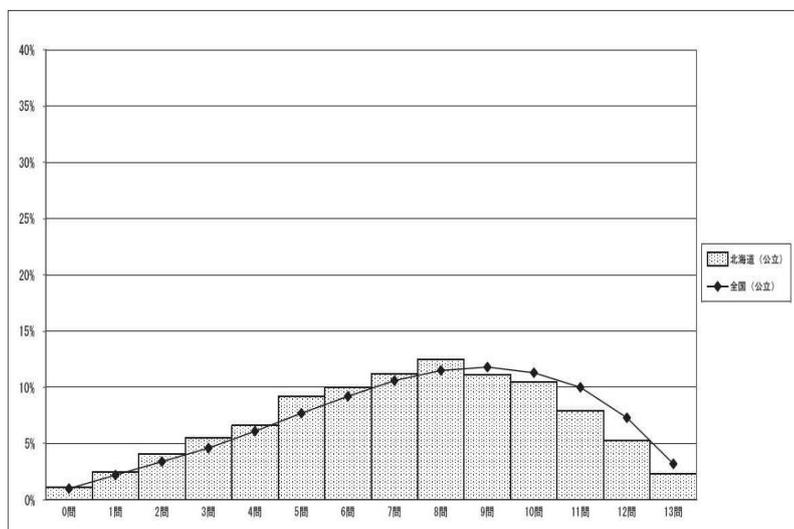
○ 平均正答率が(54.7%-56.8%(55.8%))であり、全国と比べると(-4.0~-2.3(-3.1))ポイント低く、今回出題された学習内容に関する基礎的・基本的な知識・技能を活用する能力を更に身に付けさせる必要がある。

[平均正答率] 道 : H24(54.7%-56.8%)(平均正答率:55.8%) ← H22(44.1%-46.1%)(平均正答率:45.1%)  
 全国 : H24(58.7%-59.1%)(平均正答率:58.9%) ← H22(49.1%-49.5%)(平均正答率:49.3%)

### 【平成24年度】算数B

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	8,561人	7.2問/13問	55.8%	54.7%-56.8%	7.0問	3.0
全国	255,151人	7.7問/13問	58.9%	58.7%-59.1%	8.0問	3.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



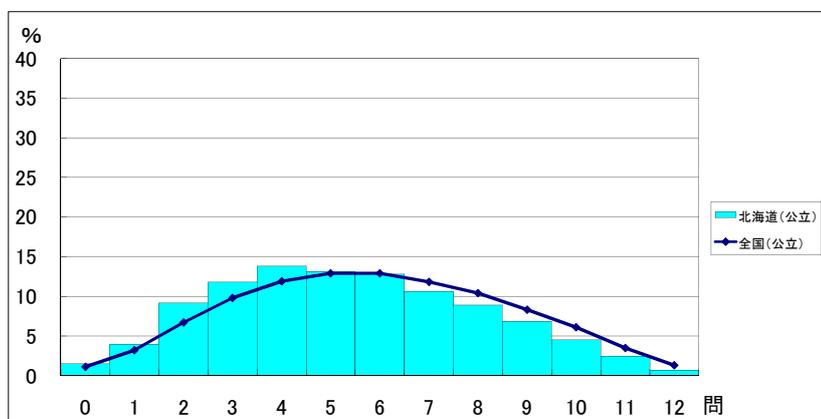
分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	数と計算	6	50.4	54.0
	量と測定	9	57.7	60.8
	図形	3	60.3	63.3
評価の観点	数量関係	4	46.5	49.5
	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	8	47.0	50.4
	数量や図形についての技能	3	75.9	77.6
問題形式	数量や図形についての知識・理解	2	60.6	65.2
	選択式	3	64.7	68.0
	短答式	5	74.7	77.1
	記述式	5	31.5	35.3

### 【平成22年度】算数B

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	9,121人	5.4問/12問	45.1%	44.1%-46.1%	5.0問	2.7
全国	264,181人	5.9問/12問	49.3%	49.1%-49.5%	6.0問	2.7

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)

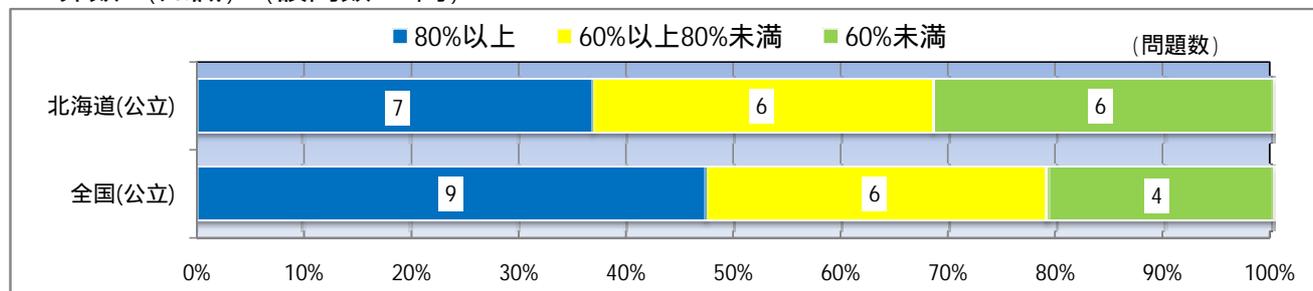


# 設問別の正答率の状況

## 【小学校算数】

算数A(知識)について、正答率80%以上は、19問中7問であり、正答率60%未満は、6問であった。  
算数B(活用)について、正答率80%以上は、13問中2問であり、正答率60%未満は、7問であった。

### 1 算数A(知識) (設問数19問)



< 平均正答率が全国を上回っている設問 > (0問/19問)

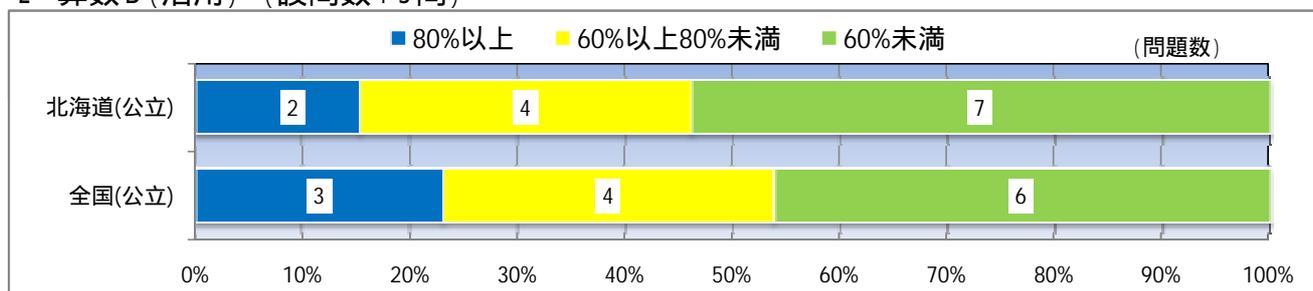
< 平均正答率が全国を下回っている設問 > (19問/19問)

19問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
1(7)	数と計算	除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができる	70.6%	82.4%	-11.8
6(2)	図形	立体図形の辺と面の垂直の関係を理解している	56.8%	64.8%	-8.0

平均正答率が全国と同じ設問は0問

### 2 算数B(活用) (設問数13問)



< 平均正答率が全国を上回っている設問 > (0問/13問)

< 平均正答率が全国を下回っている設問 > (13問/13問)

13問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
4(3)	数と計算量と測定	はかりを適切に読み取り、与えられた条件を基に筋道を立てて考え、重さの求め方を記述できる	26.9%	32.8%	-5.9
3(1)	量と測定図形	面積が等しい直角三角形の数に着目し、長方形に内接するひし形の面積の求め方を理解できる	69.4%	74.2%	-4.8

平均正答率が全国と同じ設問は0問

【小学校算数A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	132 + 459 を計算する	繰り上がりのある加法の計算をすることができる													95.4	0.1	95.7	0.1
1(2)	148 ÷ 37 を計算する	除法の計算をすることができる													93.0	2.1	94.3	1.5
1(3)	4.6 - 0.21 を計算する	小数の減法の計算をすることができる													62.0	1.8	63.1	1.6
1(4)	90 × 0.7 を計算する	小数の乗法の計算をすることができる													88.0	1.1	90.8	0.8
1(5)	6 × 2 + 8 × 3 を計算する	加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる													79.8	0.6	80.0	0.5
1(6)	3/7 - 2/5 を計算する	異分母の分数の減法の計算をすることができる													81.0	3.6	85.7	2.1
1(7)	4/5 ÷ 8 を計算する	除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができる													70.6	9.6	82.4	4.2
2(1)	47000は1000が何個集まった数かを書く	数の相対的な大きさについて理解している													88.5	0.6	88.8	0.5
2(2)	596の1/100の大きさの数を小数で書く	十進位取り記数法の仕組みについて理解している													68.3	5.4	73.7	3.7
3(1)	120cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるとき、二つのテープの長さの関係を表している図を選ぶ	場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している													31.0	1.3	34.0	1.2
3(2)	120cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるとき、白いテープの長さを求める式を書く	1に当たる大きさを求めるために、除法が用いられることを理解している													39.8	4.6	41.1	3.4
4	5日間で1日に平均何個のトマトがとれたことになるのかを書く	平均の意味を理解し、測定値の平均を求めることができる													82.9	1.7	86.9	1.1
5(1)	示されたはがきの面積は約何cm <sup>2</sup> かを選ぶ	面積についての感覚を身に付けている													54.1	1.7	60.6	1.2
5(2)	三角形の底辺に対応する高さを選ぶ	三角形の底辺と高さの関係について理解している													52.4	1.4	54.6	1.2
6(1)	三つの角の大きさが60°, 80°, 90°である四角形の、残りの角の大きさを書く	四角形の四つの角の大きさの和が360°であることを理解している													72.8	2.9	76.9	2.1
6(2)	直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く	立体図形の辺と面の垂直の関係を理解している													56.8	4.0	64.8	2.7
7	示された半円をかくために、コンパスの針を刺す場所と、コンパスの開いている長さを答える	円の中心と半径について理解している													73.0	2.4	76.1	1.6
8	犬を飼っている8人が学級全体の人数の25%に当たるとき、学級全体の人数を求める式と答えを書く	百分率の意味について理解している													51.2	13.8	58.3	10.0
9	直方体の底面の大きさを変えずに、高さを2倍、3倍、...にすると、体積はどのように変わるかを選ぶ	表を用いて、二つの数量の関係が、比例の関係にあることを理解している													81.4	4.6	84.8	3.4

【小学校算数B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	代金320円に対して520円を支払ったとき、おつりとしてもらった2枚の硬貨の種類を書く	支払い方の工夫を解釈し、おつりの金額を硬貨の種類と枚数に対応させることができる													91.8	0.5	92.6	0.5
1(2)	代金630円に対して、1030円よりも1130円を支払ったときの方が、おつりの硬貨の枚数が少なくなるわけを書く	硬貨の種類と枚数を比較し、一方の支払いの方が、おつりの枚数が少なくなる理由を記述できる													37.8	7.6	42.5	5.6
2(1)	中型の跳び箱を8段にしたときの高さを求める式を選ぶ	跳び箱の図を観察し、指定された段の高さを求める式を読み取ることができる													85.7	0.9	87.1	1.0
2(2)	中型の跳び箱を70cmの高さにすることができるかどうかを判断し、そのわけを書く	必要な情報を用いて、指定された高さにすることができるかどうかを判断し、その理由を記述できる													24.2	1.2	26.8	1.3
2(3)	2種類の跳び箱を30cm高くすると同じ高さになるわけとして、正しい記述を選ぶ	示された複数の情報を関連付けて解釈し、算数の用語で的確に表現されているものを選択できる													51.7	2.5	56.2	2.2
3(1)	縦6cm、横10cmの長方形に内接するひし形の面積を求める式と答えを書く	面積が等しい直角三角形の数に着目し、長方形に内接するひし形の面積の求め方を理解できる													69.4	5.2	74.2	4.1
3(2)	面積が等しい直角三角形を基に、長方形に内接する四角形の面積と長方形の面積の関係を書く	面積が等しい直角三角形を基に筋道を立てて考え、面積の関係を記述できる													49.3	9.9	51.2	8.6
4(1)	午前11時30分までにご飯が出来上がるようにするために、所要時間40分間を基に、こんろに点火する時刻を求める	与えられた条件に合う時刻を求めることができる													79.9	2.0	81.3	1.7
4(2)	40分間以内でできることを判断するために、所要時間の範囲から適切な数値の組み合わせを書く	示された時間の範囲から、目的に応じて所要時間の見当を付けることができる													70.0	2.3	72.8	2.0
4(3)	はかりの目盛りと1人分の材料と分量を基に、班の人数分のご飯を作るために必要な水の重さの求め方と答えを書く	はかりを適切に読み取り、与えられた条件を基に筋道を立てて考え、重さの求め方を記述できる													26.9	12.8	32.8	10.9
5(1)	一輪車の高さを調節したときの、示された長さを求める	一輪車の図から円を見いだし、円の性質を用いて、長さを求めることができる													62.1	7.0	64.4	5.7
5(2)	一輪車のタイヤの回転数と進んだ長さが比例の関係にあることを基に、トラック一周の長さを求める式を選ぶ	表から比例の関係を捉え、二つの数量の変化の仕方に対応する式を選択することができる													56.7	6.9	60.9	5.8
5(3)	示された表から、合計の人数を基にした乗れる人数の割合は、男子と女子ではどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く	表から適切な数値を取り出して割合の大小を判断し、その理由を記述できる													19.3	12.7	23.3	10.6

## ○ 小学校理科

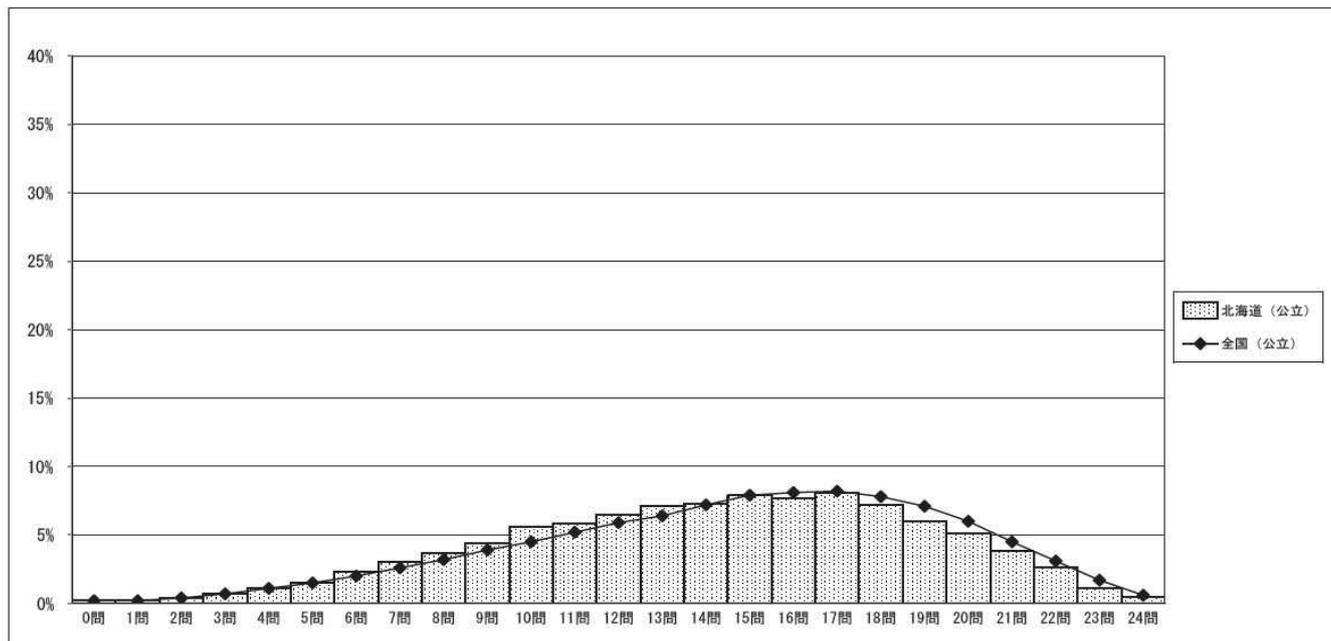
### 【概要】

○ 平均正答率が（58.0%-59.6%（58.8%））であり、全国と比べると（-2.8~-1.5（-2.1））ポイント低く、今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能や、それらを活用する能力を身に付けさせる必要がある。

### 【平成24年度】理科

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95% の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	8,548人	14.1問/24問	58.8%	58.0%-59.6%	14.0問	4.7
全国	254,825人	14.6問/24問	60.9%	60.8%-61.1%	15.0問	4.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



### 分類・区別集計結果

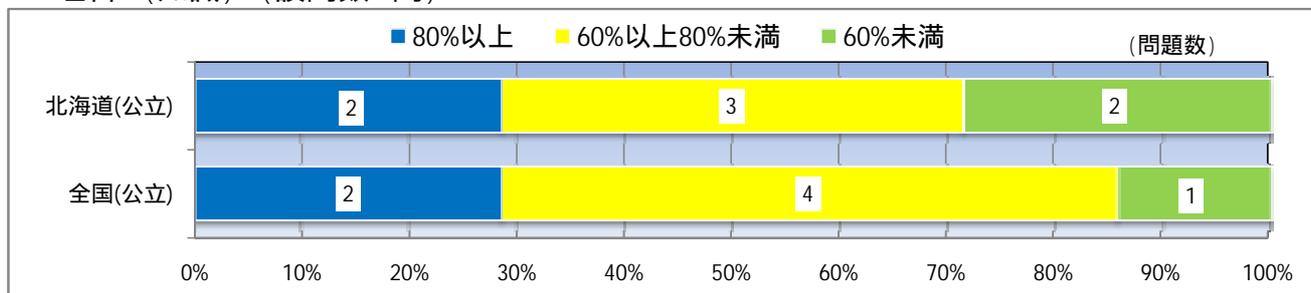
分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)	
			北海道 (公立)	全国 (公立)
問題	主として「知識」に関する問題	7	67.0	69.1
	主として「活用」に関する問題	17	55.4	57.6
学習指導要領の 領域	物質	7	60.1	61.4
	エネルギー	5	56.6	59.8
	生命	7	66.6	68.6
	地球	5	48.2	50.6
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0		
	科学的な思考・表現	17	55.4	57.6
	観察・実験の技能	2	44.4	46.2
	自然事象についての知識・理解	5	76.1	78.2
問題形式	選択式	15	63.3	65.0
	短答式	6	61.2	63.9
	記述式	3	31.4	34.5

# 設問別の正答率の状況

## 【小学校理科】

理科A(知識)について、正答率80%以上は、7問中2問であり、正答率60%未満は、2問であった。  
理科B(活用)について、正答率80%以上は、17問中1問であり、正答率60%未満は、9問であった。

### 1 理科A(知識) (設問数7問)



<平均正答率が全国を上回っている設問> (0問/7問)

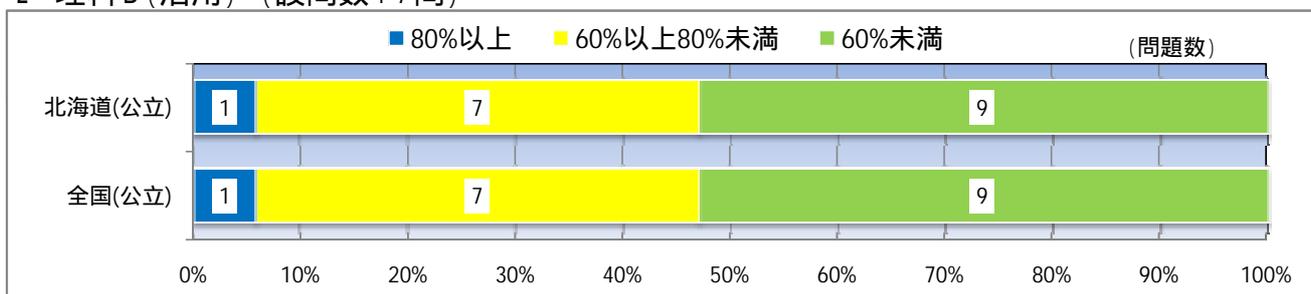
<平均正答率が全国を下回っている設問> (7問/7問)

7問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
3(1)イ	エネルギー	光電池や乾電池の働きを強くするための要因を理解している	56.8%	61.7%	-4.9
4(1)	地球	方位磁針の適切な操作方法を身に付けている	23.8%	27.3%	-3.5

平均正答率が全国と同じ設問は0問

### 2 理科B(活用) (設問数17問)



<平均正答率が全国を上回っている設問> (2問/17問)

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
1(2)	物質	物は、水に溶けても重さは変わらないことを氷砂糖に適用できる	77.1%	76.3%	0.8
2(2)ア	生命	学習した植物の成長の規則性を、他の対象であるサクラに適用できる	73.1%	73.0%	0.1

<平均正答率が全国を下回っている設問> (15問/17問)

15問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
3(3)	エネルギー	並列つなぎについて、乾電池の向きと車の進行方向とを関係付けて、分析できる	47.3%	52.7%	-5.4
2(3)太郎	生命	気温が異なる地域のサクラの開花時期を、データを基に分析できる	70.3%	75.5%	-5.2

平均正答率が全国と同じ設問は0問

[小学校理科]設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		北海道(公立)		全国(公立)	
					物質	エネルギー	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	氷砂糖を細かく割ったときの全体の重さについて、当てはまるものを選ぶ	物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している													85.1	0.2	85.8	0.3
1(2)	氷砂糖を水に溶かしたときの全体の重さについて、当てはまるものを選ぶ	物は、水に溶けても重さは変わらないことを氷砂糖に適用できる													77.1	0.3	76.3	0.4
1(3)	砂糖水に溶けている氷砂糖の様子について、実験結果から適切な図を選び、選んだわけを書く	水に溶けている物の様子について、実験結果を基に自分の考えを改善して、その理由を記述できる													50.6	0.9	54.4	0.9
1(4)	梅ジュースに溶けている砂糖の濃さについて、適切に説明しているものを選ぶ	物は、水に溶けると液全体に広がることを、梅ジュースに適用できる													63.7	0.6	65.6	0.6
2(1)	虫眼鏡の適切な操作方法を選ぶ	虫眼鏡の適切な操作方法を身に付けている													64.9	0.4	65.0	0.5
2(2)ア	4月25日のサクラの様子について、データを基に、それぞれ当てはまるものを選ぶ	学習した植物の成長の規則性を、他の対象であるサクラに適用できる													73.1	0.7	73.0	0.8
2(2)イ															85.1	0.7	88.4	0.8
2(3)太郎	サクラが開花する地域について、データを基に、それぞれ当てはまるものを選ぶ	気温が異なる地域のサクラの開花時期を、データを基に分析できる													70.3	1.8	75.5	1.7
2(3)花子															68.4	1.8	68.9	1.6
2(4)	「おしべの花粉がめしべの先につく」ことを表す言葉を書く	植物の受粉と結実の関係について、科学的な言葉や概念を理解している													75.2	11.2	77.2	10.2
2(5)	スイカの受粉と結実の関係を調べる実験について、適切な実験方法を選び、選んだわけを書く	植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その理由を記述できる													29.5	4.6	32.1	4.6
3(1)ア	車を動かす力を強くするための工夫について、光電池の特性や乾電池のつなぎ方から当てはまる言葉を書く	光電池や乾電池の働きを強くするための要因を理解している													74.9	4.6	76.5	4.3
3(1)イ															56.8	6.5	61.7	5.4
3(2)	ゴムをねじる回数と車の進む距離の関係を示すグラフから、ゴムをねじる回数を選ぶ	ゴムをねじる回数についてグラフから分析して、予測することができる													55.7	1.1	57.4	1.0
3(3)	車の進行方向と電流の向きとを関係付けて考え、並列つなぎの適切なつなぎ方を選ぶ	並列つなぎについて、乾電池の向きと車の進行方向とを関係付けて、分析できる													47.3	1.4	52.7	1.3
3(4)	電磁石の強さを変えるための実験条件を書く	電磁石の強さを変える要因について確かめる実験を、条件を制御しながら構想できる													48.3	7.8	50.6	7.2
3(5)オ															60.8	2.4	62.1	2.4
3(5)カ	水の状態変化の説明として、当てはまる言葉を選ぶ	水は、温度によって状態が変化する性質を、物を動かす「エネルギーの見方」として適用できる													42.1	2.6	42.4	2.8
3(5)キ															41.0	3.4	43.5	3.4
4(1)	方位磁針の適切な操作方法を選び、その時の太陽の方位を書く	方位磁針の適切な操作方法を身に付けている													23.8	3.8	27.3	3.2
4(2)	方位磁針の名称を書く	方位磁針の名称を理解している													88.4	6.4	89.8	5.7
4(3)	「かげの観察記録」を基に、木の影の長さの変化を表したグラフを選ぶ	「かげの観察記録」を基に、木の影の長さの変化を表すグラフを分析できる													52.6	4.6	54.6	3.9
4(4)	木の影がなかった時間の空の様子を選ぶ	日陰の様子と雲の様子とを関係付けて、木の影がなかった時間の空の様子を分析できる													62.0	4.7	64.6	4.1
4(5)	天気の様子と気温の変化とを関係付けて、気温の変化を表したグラフを選び、選んだわけを書く	天気の様子と気温の変化の関係についてデータを基に分析して、その理由を記述できる													14.2	7.8	16.9	6.7

# ○ 中学校国語 A

## 【概要】

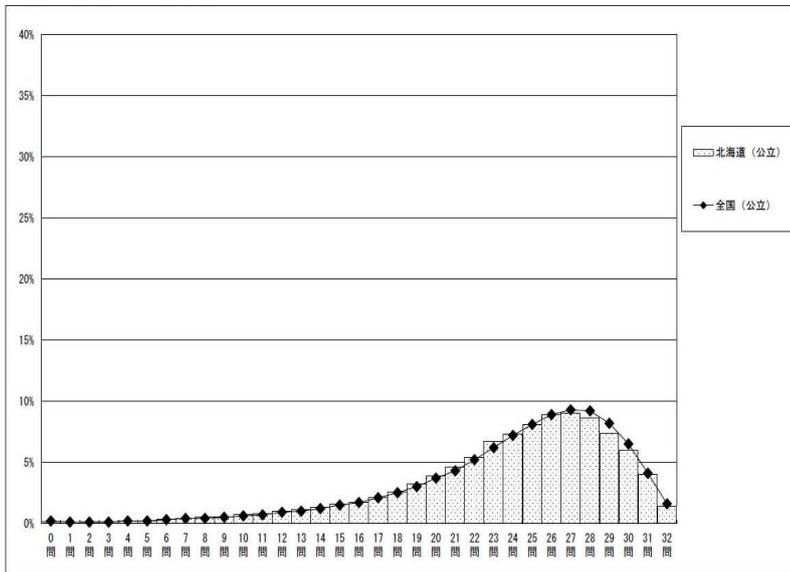
○ 平均正答率が（73.6%-74.8%（74.2%））であり、全国と比べると（-1.4~-0.4（-0.9））ポイント低く、今回出題された学習内容に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる必要がある。

〔平均正答率〕 道 : H24（73.6% - 74.8%）（平均正答率：74.2%） ← H22（74.1% - 75.3%）（平均正答率：74.7%）  
 全国 : H24（75.0% - 75.2%）（平均正答率：75.1%） ← H22（75.0% - 75.2%）（平均正答率：75.1%）

## 【平成24年度】国語 A

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	16,100人	23.8問/32問	74.2%	73.6%-74.8%	25.0問	5.6
全国	424,157人	24.0問/32問	75.1%	75.0%-75.2%	25.0問	5.5

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



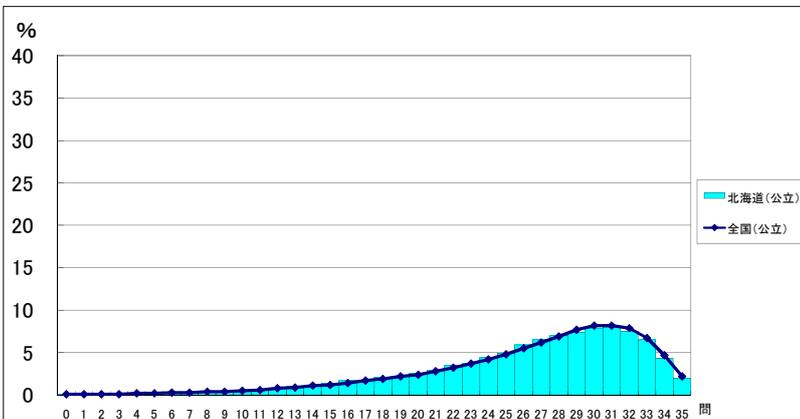
分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	2	86.1	87.7
	書くこと	4	86.0	88.1
	読むこと	5	65.5	65.4
	言語事項	21	72.9	73.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0		
	話す・聞く能力	2	86.1	87.7
	書く能力	4	86.0	88.1
	読む能力	5	65.5	65.4
	言語についての知識・理解・技能	21	72.9	73.7
問題形式	選択式	16	75.3	76.1
	短答式	16	73.2	74.1
	記述式	0		

## 【平成22年度】国語 A

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	15,738人	26.2問/35問	74.7%	74.1%-75.3%	28.0問	6.3
全国	420,942人	26.3問/35問	75.1%	75.0%-75.2%	28.0問	6.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



## ○ 中学校国語B

### 【概要】

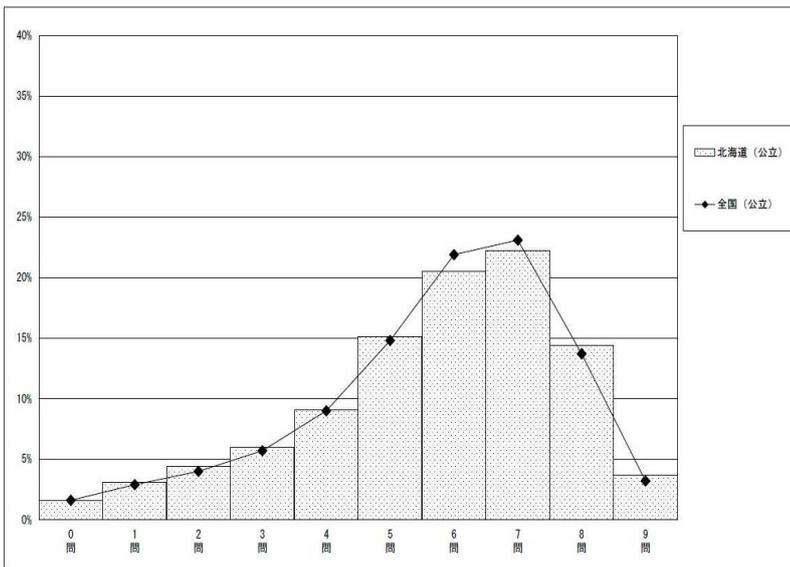
○ 平均正答率が（62.4%-63.8%（63.1%））であり、全国と比べると（-0.8～+0.4（-0.2））ポイントとなっており、今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を活用する能力を身に付けさせる必要がある。

〔平均正答率〕 道 : H24（62.4% - 63.8%）（平均正答率：63.1%） ← H22（62.1%-63.7%）（平均正答率：62.9%）  
 全国 : H24（63.2% - 63.4%）（平均正答率：63.3%） ← H22（65.1%-65.5%）（平均正答率：65.3%）

### 【平成24年度】国語B

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	16,079人	5.7問/9問	63.1%	62.4%-63.8%	6.0問	2.0
全国	424,258人	5.7問/9問	63.3%	63.2%-63.4%	6.0問	2.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



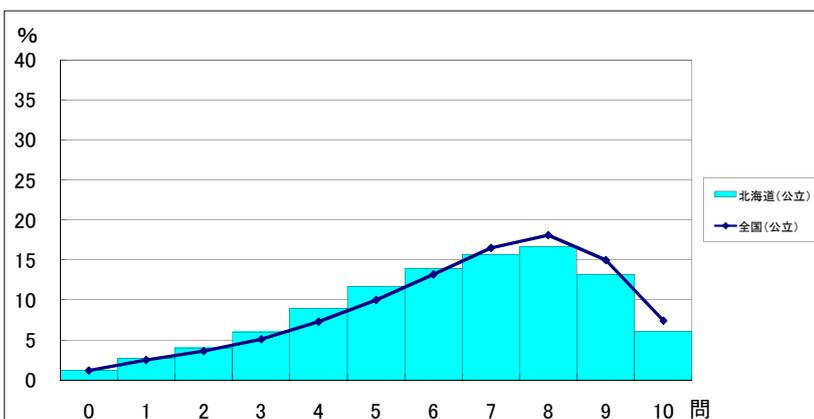
分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	58.8	59.9
	書くこと	4	55.5	57.4
	読むこと	5	62.2	61.5
	言語事項	0		
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	47.1	49.0
	話す・聞く能力	3	58.8	59.9
	書く能力	4	55.5	57.4
	読む能力	5	62.2	61.5
	言語についての知識・理解・技能	0		
問題形式	選択式	5	68.5	67.7
	短答式	1	84.5	84.3
	記述式	3	47.1	49.0

### 【平成22年度】国語B

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	15,742人	6.3問/10問	62.9%	62.1%-63.7%	7.0問	2.4
全国	421,113人	6.5問/10問	65.3%	65.1%-65.5%	7.0問	2.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



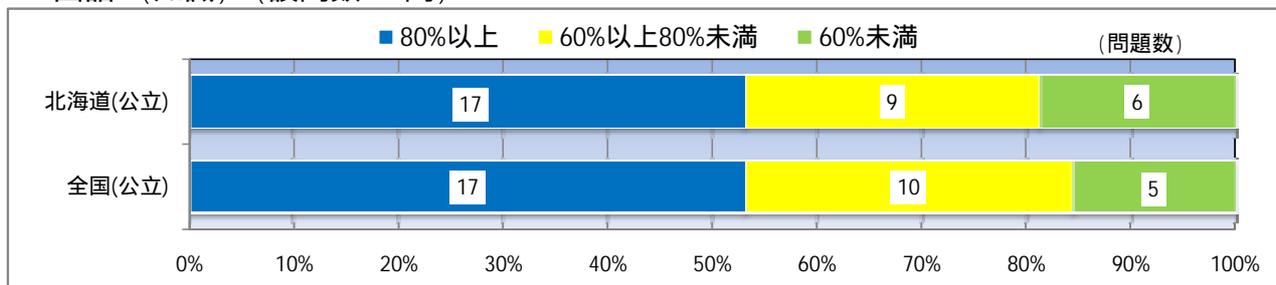
# 設問別の正答率の状況

## 【中学校国語】

国語A(知識)について、正答率80%以上は、32問中17問であり、正答率60%未満は、6問であった。

国語B(活用)について、正答率80%以上は、9問中2問であり、正答率60%未満は、3問であった。

### 1 国語A(知識) (設問数32問)



#### <平均正答率が全国を上回っている設問> (11問/32問)

11問中、最も全国の平均正答率との差が大きい12問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
7二2	言語事項	文脈に即して漢字を正しく読む	88.2%	84.6%	3.6
4二	言語事項	話し言葉と書き言葉との違いを理解し、適切に使う	49.5%	47.1%	2.4

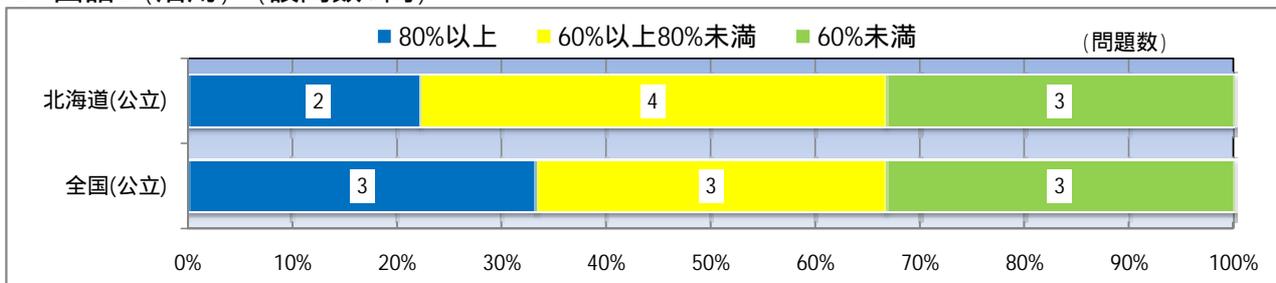
#### <平均正答率が全国を下回っている設問> (20問/32問)

20問中、最も全国の平均正答率との差が大きい12問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
7一1	言語事項	文脈に即して漢字を正しく書く	42.8%	51.5%	-8.7
7一3	言語事項	文脈に即して漢字を正しく書く	64.3%	69.3%	-5.0

平均正答率が全国と同じ設問は1問

### 2 国語B(活用) (設問数9問)



#### <平均正答率が全国を上回っている設問> (3問/9問)

3問中、最も全国の平均正答率との差が大きい12問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
3二	読むこと	物語の場面の展開を捉える	41.6%	34.2%	7.4
3一	読むこと	物語の展開や表現の特徴を捉える	61.9%	61.6%	0.3

#### <平均正答率が全国を下回っている設問> (6問/9問)

6問中、最も全国の平均正答率との差が大きい12問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
3三	書くこと 読むこと	物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書く	56.2%	58.9%	-2.7
2二	書くこと	効果的に伝わるように、内容や表現の仕方を工夫して書く	80.7%	82.5%	-1.8

平均正答率が全国と同じ設問は0問

[中学校国語A]設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1一	指示棒が指す箇所として適切なものを選択する	自分の話を聞き手に理解してもらえるように、資料を用いて話す												82.2	0.3	85.4	0.3
1二	話題が変わる箇所として適切なものを選択する	間の取り方に注意して話す												83.6	0.3	85.0	0.4
2一	手紙の前文の最初に書かれる言葉の名称として適切なものを選択する	手紙の形式を理解して書く												84.4	0.3	89.2	0.4
2二	時候の挨拶に書き足した文の説明として適切なものを選択する	相手に応じて文章を書き直す												82.2	0.4	84.9	0.5
3一	「よく熟した夏ミカン」に対応する東京の情景を本文中から抜き出す	比喩を手掛かりにしながら文脈をたどり、内容を理解する												83.7	2.9	85.9	2.3
3二	「この村の月は、まるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法の名称を書く	比喩という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解する												41.9	14.9	40.4	18.3
4一	「難易度が高くなるので」を聞き手に分かりやすい表現に直す	聞き手や場面を意識して、適切な語句を選択して話す												90.1	2.1	90.1	2.0
4二	「生徒会活動(小学校……児童会活動)」を場に応じた話し言葉にする	話し言葉と書き言葉との違いを理解し、適切に使う												49.5	8.8	47.1	7.7
5一	文章の特徴として適切なものを選択する	伝えたい事柄を明確にして書く												89.9	0.4	90.6	0.6
5二	文鎖について説明する一文を書き加える	必要な情報が相手に伝わるように説明する												87.4	3.9	87.8	3.6
6一	「このような現象」が何と呼ばれているかを本文中から抜き出す	文章の展開に即して内容を捉える												68.9	3.2	68.1	3.1
6二	取扱い絵表示の内容に加えて気を付けなければならないこととして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る												39.5	0.6	40.3	0.6

【中学校国語A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
7-1	漢字を書く(地域の人をショウタイする)	文脈に即して漢字を正しく書く													42.8	20.3	51.5	14.7
7-2	漢字を書く(メートルは長さのタンイである)														85.6	8.3	86.1	7.4
7-3	漢字を書く(鉛筆を力ける)														64.3	7.6	69.3	5.7
7-21	漢字を読む(考えに相違がある)	文脈に即して漢字を正しく読む													59.8	13.7	64.5	12.5
7-22	漢字を読む(不純物が沈殿する)														88.2	5.1	84.6	6.0
7-23	漢字を読む(会議で決を握る)														71.0	5.1	73.8	4.8
7-3ア	適切な語句を選択する(このカーテンの色は、部屋の雰囲気とよく調和している)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う													83.5	0.6	82.6	0.7
7-3イ	適切な敬語を選択する(先生が、私の家にいらっしゃる)														89.3	0.5	89.0	0.6
7-3ウ	適切な語句を選択する(弟子を手塩にかけて育てる)														62.7	0.9	60.6	1.1
7-3エ	適切な語句を選択する(たなびく雲の間から、春の光がもれている)														45.9	0.7	46.9	0.8
7-3オ	適切な語句を選択する(いかなる困難にもひるむことなく仕事を進めた)														94.0	0.7	93.5	0.7
7-4ア	適切な対義語を選択する(受信)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う													88.1	0.6	87.5	0.7
7-4イ	適切な対義語を選択する(理想)														66.2	0.6	66.3	0.8
7-5	はがきの表書きを書く	はがきの書き方を理解して書く													75.3	2.7	73.7	2.7
7-61	ローマ字で書く(たけくらべ)	ひらがなで表記された作品名をローマ字で書く													88.3	2.3	88.8	2.3
7-62	ローマ字を読む(Tosa nikki)	ローマ字で表記された作品名を読み、ひらがなと漢字で正しく書く													80.1	4.5	81.9	4.2
7-71	「諸行むじやう」を漢字で書いたものとして適切なものを選択する	抽象的な概念を表す語句について理解する													65.7	1.1	67.0	1.1
7-72	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(あらはす)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む													93.6	3.1	92.6	3.5
7-81	漢字の音読みと訓読みの説明として適切なものを選択する	漢字の音読みと訓読みについて理解する													71.6	1.3	72.0	1.3
7-82	漢和辞典の「意味」の中から、「観光」の「光」の意味として適切なものを選択する	辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える													75.9	1.5	76.6	1.6

小学校学習指導要領による。

【中学校国語B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道 (公立)		全国(公立)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1一	対談での発言の役割について説明したものと して適切なものを選択する	相手の話を踏まえて話す												78.6	0.3	79.2	0.4
1二	対談の展開を整理したものと して適切なものを選択する	話の展開に注意して聞く												79.7	0.3	80.8	0.4
1三	これからどのような言葉の 使い方をしたいのかを 具体的な言葉の例を挙げて書く	相手の発言を注意して聞き、 自分の考えを書く												18.3	20.0	19.7	13.9
2一	「被写体」を言い換えている 言葉を本文中から抜き出す	文脈の中における語句の 意味を捉える												84.5	4.9	84.3	4.9
2二	祖母向けの説明書の工夫 として適切なものを選択 する	効果的に伝わるように、 内容や表現の工夫を書く												80.7	0.4	82.5	0.5
2三	祖母向けの説明書の一部 を書く	資料に書かれている情報 の中から必要な内容を選び、 伝えたい事柄が明確に 伝わるように書く												66.7	10.1	68.4	8.1
3一	物語について説明した ものとして適切なもの を選択する	物語の展開や表現の 特徴を捉える												61.9	0.6	61.6	0.8
3二	物語に描かれている季節 を選択する	物語の場面の展開を 捉える												41.6	0.5	34.2	0.7
3三	朗読の仕方の工夫と その理由を書く	物語の内容や登場人物の 言動の意味などを捉え、 自分の考えを書く												56.2	17.2	58.9	13.6

# ○ 中学校数学A

## 【概要】

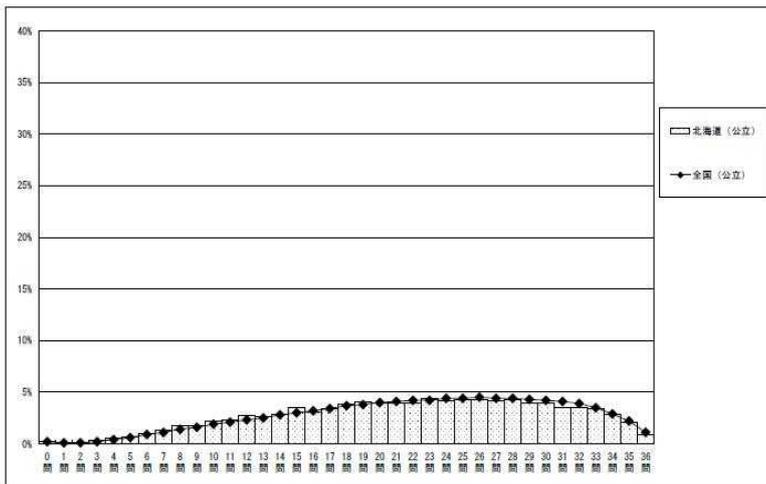
○ 平均正答率が(59.9%-61.6%(60.8%))であり、全国と比べると(-2.1~-0.7(-1.3))ポイント低く、今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる必要がある。

〔平均正答率〕 道 : H24(59.9%-61.6%)(平均正答率:60.8%) ← H22(61.8%-63.6%)(平均正答率:62.7%)  
 全国 : H24(62.0%-62.3%)(平均正答率:62.1%) ← H22(64.4%-64.8%)(平均正答率:64.6%)

## 【平成24年度】数学A

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	16,069人	21.9問/36問	60.8%	59.9%-61.6%	22.0問	8.0
全国	424,379人	22.4問/36問	62.1%	62.0%-62.3%	23.0問	7.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



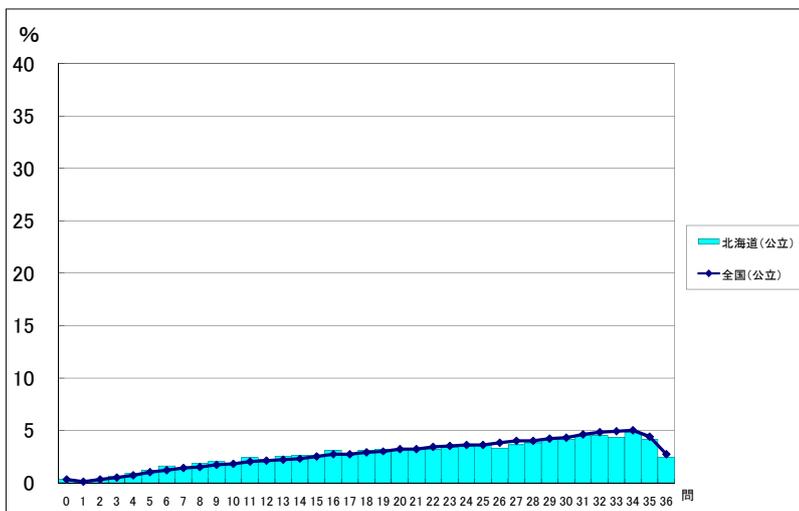
分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	数と式	1 2	64.9	67.5
	図形	1 2	65.5	66.7
	数量関係	1 2	51.9	52.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	0		
	数学的な表現・処理	1 3	67.5	69.8
	数量、図形などについての知識・理解	2 3	56.9	57.8
問題形式	選択式	2 1	58.9	59.7
	短答式	1 5	63.4	65.5
	記述式	0		

## 【平成22年度】数学A

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	15,749人	22.6問/36問	62.7%	61.8%-63.6%	24.0問	9.0
全国	421,250人	23.3問/36問	64.6%	64.4%-64.8%	25.0問	8.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



## ○ 中学校数学B

### 【概要】

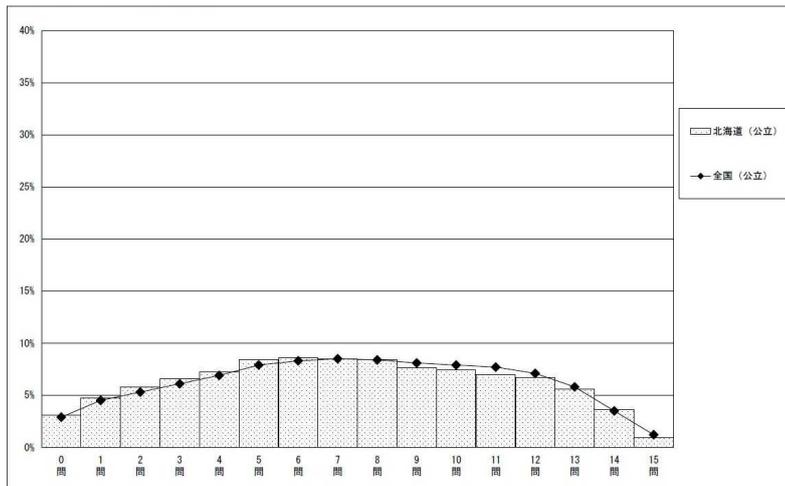
○ 平均正答率が(47.1%-49.1%(48.1%))であり、全国と比べると(-2.1~-0.4(-1.2))ポイント低く、今回出題された学習内容に関する基礎的・基本的な知識・技能を活用する能力を身に付けさせる必要がある。

[平均正答率] 道 : H24(47.1%-49.1%)(平均正答率:48.1%) ← H22(40.1%-42.4%)(平均正答率:41.2%)  
 全国 : H24(49.2%-49.5%)(平均正答率:49.3%) ← H22(43.1%-43.5%)(平均正答率:43.3%)

### 【平成24年度】数学B

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95% の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	16,062人	7.2問/15問	48.1%	47.1%-49.1%	7.0問	3.9
全国	424,373人	7.4問/15問	49.3%	49.2%-49.5%	7.0問	3.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



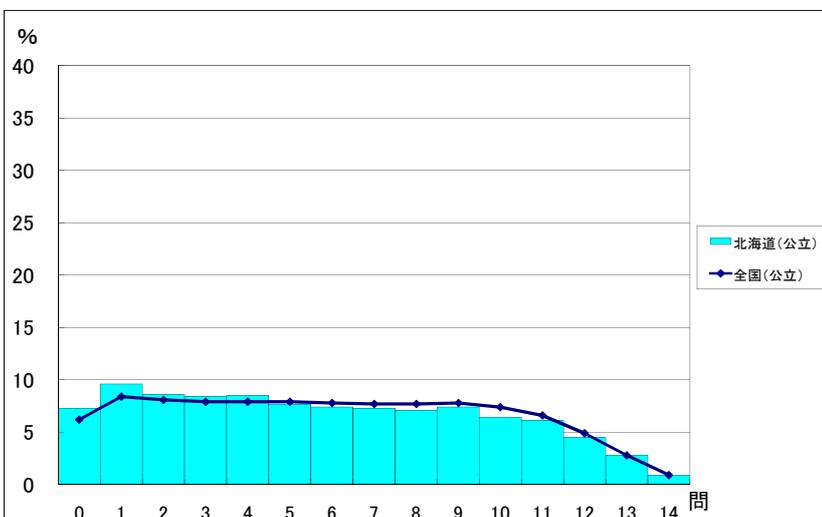
分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)	
			北海道 (公立)	全国 (公立)
学習指導 要領の 領域	数と式	4	38.9	40.9
	図形	7	58.9	59.7
	数量関係	4	38.4	39.8
評価の 観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	12	40.3	41.8
	数学的な表現・処理	2	74.9	75.0
	数量、図形などについての知識・理解	1	88.2	89.0
問題 形式	選択式	3	57.1	58.4
	短答式	5	64.6	65.4
	記述式	7	32.4	34.0

### 【平成22年度】数学B

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95% の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	15,742人	5.8問/14問	41.2%	40.1%-42.4%	5.0問	3.8
全国	421,281人	6.1問/14問	43.3%	43.1%-43.5%	6.0問	3.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)

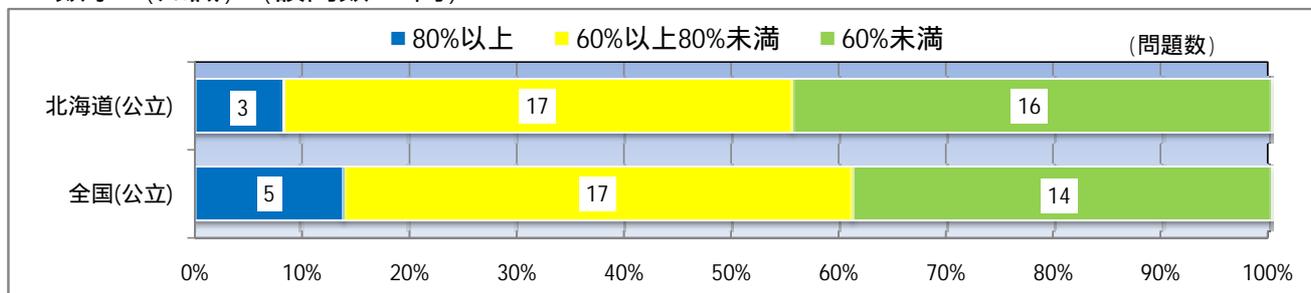


# 設問別の正答率の状況

## 【中学校数学】

数学A(知識)について、正答率80%以上は、36問中3問であり、正答率60%未満は、16問であった。  
 数学B(活用)について、正答率80%以上は、15問中1問であり、正答率60%未満は、11問であった。

### 1 数学A(知識) (設問数36問)



#### <平均正答率が全国を上回っている設問> (10問/36問)

10問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
14(1)	数量関係	前の試行が次の試行に影響しない場面において、「同様に確からしい」ことの意味を理解している	67.0%	64.6%	2.4
2(1)	数と式	整式の加法と減法の計算ができる	79.4%	77.6%	1.8

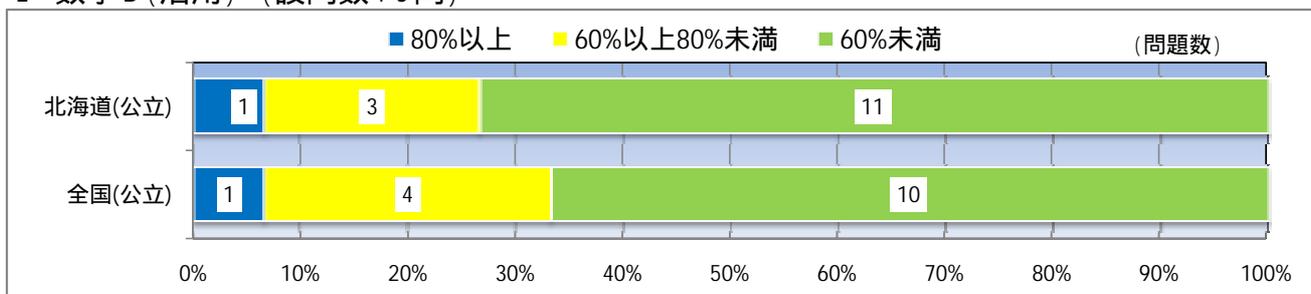
#### <平均正答率が全国を下回っている設問> (26問/36問)

26問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
1(4)	数と式	正の数と負の数を用いて日常的な事象を処理することができる	66.8%	73.5%	-6.7
2(2)	数と式	指数を含む文字式で文字に数を代入して式の値を求めることができる	61.6%	66.3%	-4.7

平均正答率が全国と同じ設問は0問

### 2 数学B(活用) (設問数15問)



#### <平均正答率が全国を上回っている設問> (1問/15問)

設問番号	領域	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
4(2)	図形	筋道を立てて考え、証明することができる	45.4%	45.1%	0.3

#### <平均正答率が全国を下回っている設問> (14問/15問)

14問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
3(2)	数量関係	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	42.9%	46.1%	-3.2
1(1)	数と式	表から必要な情報を適切に選択し、処理することができる	58.7%	61.8%	-3.1

平均正答率が全国と同じ設問は0問

【中学校数学A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点				問題形式			北海道 (公立)		全国 (公立)		
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)	
1 (1)	8と12の最小公倍数を求める	2つの自然数の最小公倍数を求めることができる	○*				○				○			63.2	3.3	67.7	2.6
1 (2)	$6 - (-7)$ を計算する	正の数と負の数の減法の計算ができる	○				○				○			84.0	1.3	88.5	1.1
1 (3)	数直線上の点が表示負の整数の値を読み取る	数直線上に示された負の整数を読み取ることができる	○				○				○			66.0	1.2	66.4	1.2
1 (4)	天気予報の情報から、ある市の最高気温と最低気温の差を求める	正の数と負の数を用いて日常的な事象を処理することができる	○				○				○			66.8	2.4	73.5	1.8
2 (1)	$(7x + 5y) - (5x + 2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	○				○				○			79.4	1.7	77.6	1.8
2 (2)	$x = 3$ のときの式 $-x^2$ の値を求める	指数を含む文字式で文字に数を代入して式の値を求めることができる	○				○				○			61.6	6.7	66.3	6.0
2 (3)	整数 $a$ を用いて、式 $2a$ で表すことのできる数を選ぶ	文字の値が整数のときに、式の値について考察することができる	○					○			○			32.9	5.4	36.6	4.8
2 (4)	「1個 $a$ 円の品物を2個買った代金は1000円より安い。」という数量の関係を表した式として正しいものを選ぶ	数量の大小関係を不等式に表すことができる	○				○				○			61.3	0.4	65.2	0.5
3 (1)	比例式 $6 : 8 = x : 12$ を解く	簡単な比例式を解くことができる	○				○				○			62.4	7.4	61.8	5.8
3 (2)	連立方程式 $\begin{cases} a + b = 8 \\ 2a + b = 11 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	○				○				○			78.8	7.2	80.5	6.4
3 (3)	一次方程式を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く際に用いられている等式の性質を理解している	○					○	○					77.1	0.5	78.5	0.6
3 (4)	方程式の解が問題の答えとして適切なものであるかどうかを調べることについて、正しい記述を選ぶ	方程式を活用して、問題を解決する手順を理解している	○					○	○					45.6	1.0	47.8	1.2
4 (1)	与えられた方法で作図された直線がもつ性質として、正しい記述を選ぶ	角の二等分線の作図の方法について理解している		○					○	○				57.5	0.8	56.3	0.9
4 (2)	三角形を、直線を軸として対称移動した図形をかく	対称移動した図形をかくことができる		○					○		○			79.0	2.7	81.3	2.7
4 (3)	中心角 $120^\circ$ の扇形の面積について正しいものを選ぶ	扇形の面積がその中心角の大きさに比例することを理解している		○						○	○			67.4	0.7	69.0	0.9
5 (1)	直方体の辺と面上の線分との位置関係について、正しい記述を選ぶ	直方体における辺と面に含まれる直線との位置関係を理解している		○						○	○			58.1	0.5	60.9	0.6
5 (2)	1回転させると円柱ができる平面図形として正しいものを選ぶ	回転体がどのように構成されるかを理解している		○						○	○			86.5	0.3	86.9	0.5
5 (3)	三角柱の展開図として正しいものを選ぶ	三角柱の展開図について理解している		○						○	○			92.7	0.4	92.8	0.5
5 (4)	正四角錐の体積を求める式として正しいものを選ぶ	正四角錐の体積の求め方を理解している		○						○	○			59.2	0.6	60.8	0.7

【中学校数学A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点				問題形式			北海道 (公立)		全国 (公立)	
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
6 (1)	三角定規による平行線の作図について、正しい記述を選ぶ	同位角が等しければ2直線は平行であることを理解している		○				○	○			42.1	0.8	43.6	1.0	
6 (2)	$n$ 角形の内角の和を求める式で、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	$n$ 角形の内角の和を求める公式の意味を理解している		○				○	○			45.5	0.7	45.7	0.8	
6 (3)	与えられた三角形と合同な三角形を選ぶ	三角形の合同条件を理解している		○				○	○			62.4	0.6	66.8	0.7	
7	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	具体的な命題について、仮定と結論を区別して、もとの命題の逆をつくることができる		○			○		○			72.0	7.1	72.4	7.0	
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	証明の意義について理解している		○				○	○			63.1	0.9	64.4	1.0	
9 (1)	$y$ が $x$ に比例し、比例定数が3のとき、 $x$ 、 $y$ の値について、正しい記述を選ぶ	比例定数の意味を理解している			○			○	○			50.3	1.4	51.8	1.4	
9 (2)	$y=2x$ 上の点を選ぶ	比例のグラフ上にある点の $x$ 座標と $y$ 座標の値の組が、その式を満たしていることを理解している			○			○	○			50.0	1.0	49.8	1.1	
10 (1)	反比例の表を完成する	反比例の関係を表す表から、表中の値を求めることができる			○		○		○			44.9	3.3	48.8	3.4	
10 (2)	反比例のグラフを選ぶ	反比例の関係を表すグラフの特徴を理解している			○			○	○			50.8	1.3	52.2	1.4	
11 (1)	$(-1, -4)$ の位置を座標平面上に示す	座標平面上に点の位置を示すことができる			○			○	○			61.4	4.0	61.0	4.0	
11 (2)	一次関数のグラフから式を選ぶ	与えられたグラフから、傾きと切片の値を読み取り、一次関数 $y=ax+b$ の式を指摘できる			○			○	○			71.9	1.1	72.0	1.1	
12	一次関数を表した事象を選ぶ	2つの数量の関係が一次関数になることを理解している			○			○	○			38.0	1.7	37.9	1.8	
13	二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ	二元一次方程式の解とグラフの関係を理解している			○			○	○			40.6	2.2	38.8	2.2	
14 (1)	1枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ	前の試行が次の試行に影響しない場面において、「同様に確からしい」ことの意味を理解している			○			○	○			67.0	1.6	64.6	1.6	
14 (2)	数字の書かれた3枚のカードから2枚のカードをひくとき、両方とも奇数のカードである確率を求める	簡単な場合について確率を求めることができる			○		○		○			58.2	6.6	57.4	6.9	
15 (1)	度数分布表について、正しい記述を選ぶ	相対度数の必要性和意味を理解している			○ <sup>※2</sup>			○	○			48.9	2.6	48.7	2.6	
15 (2)	フリスローでボールの入った回数と人数の関係をまとめた図から、ボールの入った回数の最頻値を求める	資料を整理した図から最頻値を読み取ることができる			○ <sup>※2</sup>			○	○			40.5	16.0	42.4	16.9	

※1 小学校学習指導要領による。

※2 中学校学習指導要領（平成20年告示）においては、「資料の活用」の領域の内容となる。

【中学校数学B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点				問題形式			北海道（公立）		全国（公立）		
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）	
1（1）	I S Sの高度を1cmとしたときの、ひまわり7号の高度を選ぶ	表から必要な情報を適切に選択し、処理することができる	○				○				○			58.7	0.6	61.8	0.6
1（2）	2つの人工衛星の軌道の長さの差を求める計算から分かることを選び、その理由を説明する	軌道の長さの差を求める計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる	○				○				○			8.7	7.3	9.9	4.7
2（1）	連続する3つの自然数の和が3の倍数になることを説明する	事柄が成り立つ理由を示された方針に基づいて説明することができる	○				○				○			35.0	27.2	36.3	24.1
2（2）	連続する3つの偶数の和について成り立つ事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	○				○				○			53.2	28.9	55.3	24.9
3（1）	原田選手と船木選手の飛んだ回数を求める	総度数の意味に基づいてヒストグラムから必要な情報を適切に選択することができる			※1 ○			○			○			72.7	5.4	72.8	5.2
3（2）	次の1回でより遠くへ飛びそうな選手を選び、その理由を説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			※1 ○		○				○			42.9	6.5	46.1	4.9
4（1）	線対称な図形を対称の軸で折り返したとき、対応する点を答える	作図の手順を理解し、作図によってできる図形の特徴を的確に捉えることができる		○							○			88.2	5.8	89.0	5.3
4（2）	2つの直線が垂直に交わることを、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる		○			○				○			45.4	24.0	45.1	22.4
4（3）	異なる場合での垂線の作図で、共通して利用されている図形の性質を選ぶ	複数の作図を統合的に捉え、作図された図形に共通する性質を見いだすことができる		○			○				○			56.4	1.5	56.5	1.5
5（1）	CDが1.2m、DBが8.3mのときの、木の長さABを求める	「木の高さの求め方」から必要な情報を適切に選択し、処理することができる		○			○				○			67.8	12.8	70.4	11.5
5（2）	長さを置き換えてよい根拠となる、長方形の性質を選ぶ	「木の高さの求め方」を事象に即して解釈することができる		○			○				○			56.3	2.1	56.8	2.1
5（3）	A Eの長さを求められるようにするための方法を説明する	問題解決の方法を数学的に説明することができる		○			○				○			21.0	46.5	22.5	43.5
6（1）	正十二角形の1つの外角の大きさを求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる		○				○			○			77.1	6.0	77.2	6.2
6（2）	正多角形の頂点の数と正多角形の1つの外角の大きさの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	図形の性質を数量の関係に着目して捉え直し、その特徴を捉え、数学的に表現することができる			※2 ○		○				○			17.0	33.1	17.4	31.0
6（3）	正多角形の頂点の数と正多角形の1つの外角の大きさの関係をどのような関数であるかを選び、その理由を説明する	問題解決を振り返って、数量の関係を数学的に解釈し、関係が成り立つ理由を説明することができる			○		○				○			21.0	11.6	22.9	8.3

※1 中学校学習指導要領（平成20年告示）においては、「資料の活用」の領域の内容となる。

※2 中学校学習指導要領（平成20年告示）においては、「関数」の領域の内容となる。

# 中学校理科

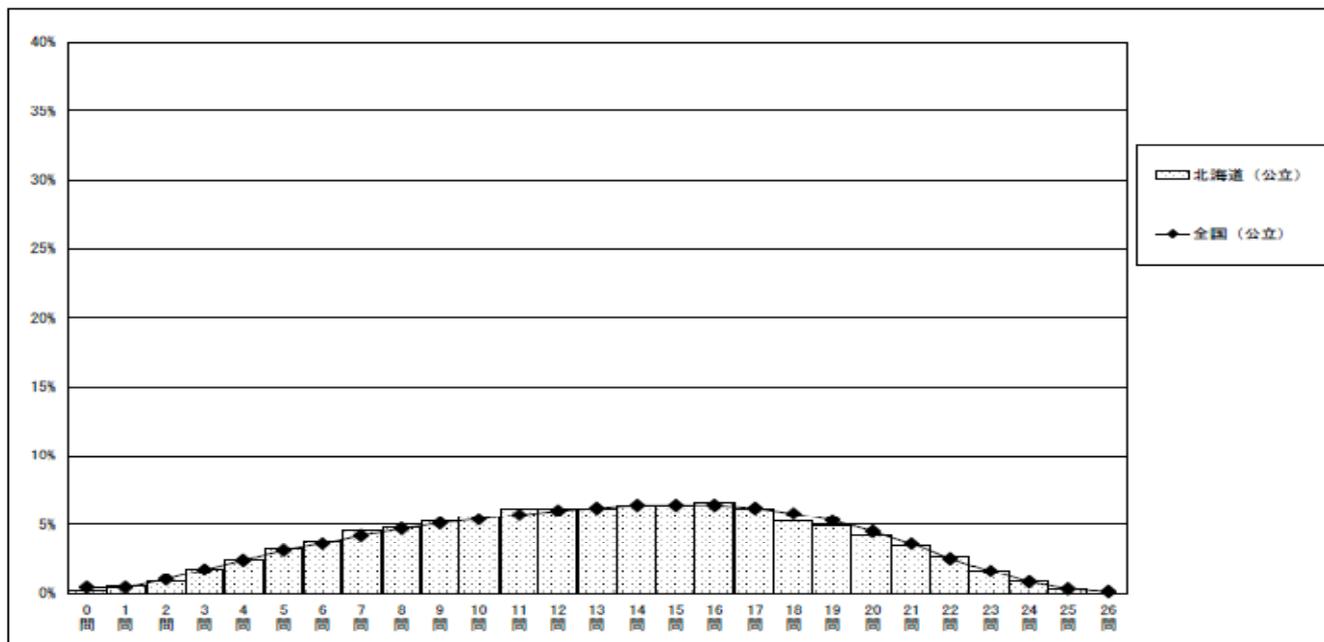
## 【概要】

平均正答率が(49.8%-51.3%(50.5%))であり、全国と比べると(-1.1~+0.2(-0.5))ポイントとなっており、今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能や、それらを活用する能力を身に付けさせる必要がある。

## 【平成24年度】理科

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	16,070人	13.1問/26問	50.5%	49.8%-51.3%	13.0問	5.4
全国	424,320人	13.3問/26問	51.0%	50.9%-51.1%	14.0問	5.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



## 分類・区別集計結果

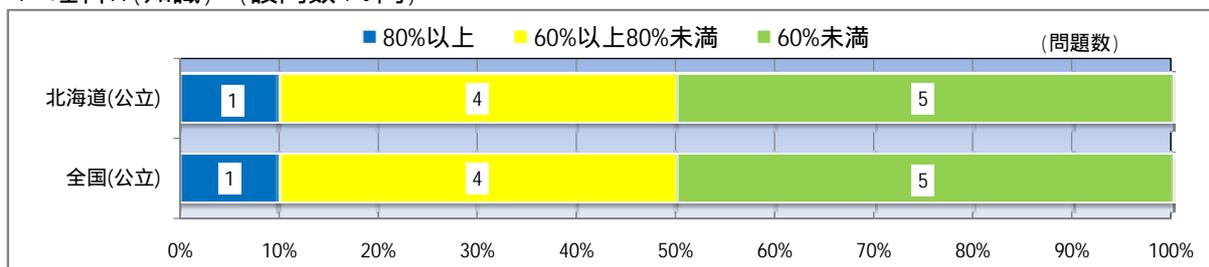
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
問題	主として「知識」に関する問題	10	55.8	56.1
	主として「活用」に関する問題	16	47.2	47.8
学習指導要領の領域	物理的領域	8	46.0	45.9
	化学的領域	6	56.4	56.9
	生物的領域	6	48.9	50.7
	地学的領域	6	52.2	52.0
評価の観点	自然事象についての関心・意欲・態度	0		
	科学的な思考・表現	16	47.2	47.8
	観察・実験の技能	4	64.0	63.6
	自然事象についての知識・理解	6	50.3	51.1
問題形式	選択式	12	59.6	60.3
	短答式	9	48.7	49.0
	記述式	5	31.9	32.1

## 設問別の正答率の状況

### 【中学校理科】

理科A(知識)について、正答率80%以上は、10問中1問であり、正答率60%未満は、5問であった。  
理科B(活用)について、正答率80%以上は、16問中1問であり、正答率60%未満は、11問であった。

#### 1 理科A(知識) (設問数10問)



##### < 平均正答率が全国を上回っている設問 > (3問/10問)

3問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
3(6)	地学的領域	「石灰岩(石灰石)にうすい塩酸をかけると二酸化炭素が発生する」という石灰岩の見分け方に関する技能を身に付けている	77.3%	73.4%	3.9
2(6)	物理的領域	電力量を理解している	11.8%	11.1%	0.7

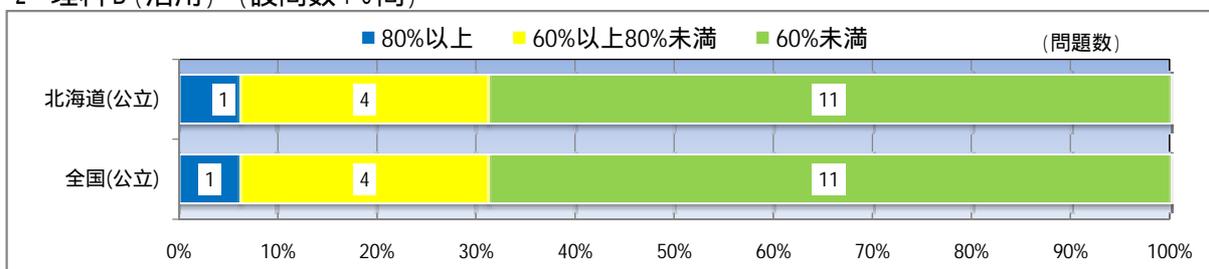
##### < 平均正答率が全国を下回っている設問 > (7問/10問)

7問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
4(3)	物理的領域	浮力を理解している	33.7%	36.2%	-2.5
1(3)	生物的領域	「胚珠は、めしべの子房の中にあり、成長すると種子になる」という知識を身に付けている	69.1%	70.9%	-1.8

平均正答率が全国と同じ設問は0問

#### 2 理科B(活用) (設問数16問)



##### < 平均正答率が全国を上回っている設問 > (3問/16問)

3問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
2(4)	物理的領域	「省エネの効果を比較する」という実験の目的のもと、「明るさ」の条件を制御した実験を計画することができる	76.3%	72.3%	4.0
2(2)	物理的領域	抵抗の直列つなぎ、並列つなぎなどに関する知識を活用して、他者の実験方法を検討し改善して、正しい実験方法を説明することができる	8.7%	7.6%	1.1

##### < 平均正答率が全国を下回っている設問 > (13問/16問)

13問中、最も全国の平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
1(4)	生物的領域	花のつくりを考える場面で、花のつくりの共通点や規則性に関する知識を活用して、アブラナの花のつくりを表している模式図を指摘することができる	62.3%	66.0%	-3.7
1(6)	生物的領域	実験結果の考察から花が開く温度を予想して、適切に温度を設定し、追実験を計画することができる	31.6%	33.9%	-2.3

平均正答率が全国と同じ設問は0問

【中学校理科】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			北海道（公立）		全国（公立）	
					物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域	自然科学についての関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1(1)	水草の働きと発生する気体の名称を答える	魚類の呼吸と水草の光合成を理解している														54.7	12.3	54.9	10.4
1(2)	両生類であるカエルの特徴や成長に応じて飼育の環境を整えた理由を説明する	動物を飼育する場面で、両生類の子と親の体のつくりと働きや生活場所に関する知識を活用して、飼育の環境を整えた理由を説明することができる														36.2	13.1	37.4	11.6
1(3)	成長して種子になる部分の名称を選ぶ	「胚珠は、めしべの子房の中にある、成長すると種子になる」という知識を身に付けている														69.1	0.2	70.9	0.4
1(4)	示された花の模式図にならって、アブラナの花のつくりを表した模式図を選ぶ	花のつくりを考える場面で、花のつくりの共通点や規則性に関する知識を活用して、アブラナの花のつくりを表している模式図を指摘することができる														62.3	0.3	66.0	0.5
1(5)	「チューリップの花が開くには、温度が関係している」という考察の根拠となる実験結果の組合せを選ぶ	「花が開くには温度が関係している」という考察を導くために、実験結果を分析し解釈して、比較する実験結果の組合せを指摘することができる														39.3	0.4	41.3	0.6
1(6)	チューリップの花が開く温度を明らかにするための追実験を計画するに当たって、実験結果の考察から設定する温度を答える	実験結果の考察から花が開く温度を予想して、適切に温度を設定し、追実験を計画することができる														31.6	9.3	33.9	8.3
2(1)	電圧が1.2Vのときの電流計の図から、電流の大きさを読みとり答える	電流計の読み方の技能を身に付けている														43.5	8.0	44.3	7.7
2(2)	1つの回路で、2つの実験と同じ結果を得るための測定方法を説明する	抵抗の直列つなぎ、並列つなぎなどに関する知識を活用して、他者の実験方法を検討し改善して、正しい実験方法を説明することができる														8.7	20.8	7.6	19.6
2(3) X	2つの実験結果から、電圧2.0Vのときの、豆電球と発光ダイオードの消費する電力を比較して答える	実験結果を分析し、豆電球と発光ダイオードの消費する電力を比較することができる														53.2	11.1	53.7	11.5
2(3) Y	2つの実験における豆電球と発光ダイオードの消費する電力から、白熱電球とLED電球の省エネの効果を考察し、LED電球の省エネの効果を答える	実験の考察とLED電球の省エネの効果を関連付けている場面で、電力に関する知識を活用して、LED電球の省エネの効果を考えることができる														83.6	10.5	83.9	10.4
2(4)	白熱電球とLED電球で、省エネの効果を比較する実験を考えるときに、必要な条件を選ぶ	「省エネの効果を比較する」という実験の目的のもと、「明るさ」の条件を制御した実験を計画することができる														76.3	0.7	72.3	1.0
2(5)	白熱電球をLED電球に交換するときに、消費する電力量を減らすために最も効果がある場所を選び、その理由を説明する	白熱電球をLED電球に交換しようとする場面で、電力量の知識を活用して、最も省エネの効果がある場所を考え、その根拠を説明することができる														57.4	4.3	58.6	3.5
2(6)	白熱電球とLED電球を、それぞれ1時間使用する場合に、消費する電力量の差を求め式を書き、電力量の差を求め	電力量を理解している														11.8	42.6	11.1	41.1

【中学校理科】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			北海道（公立）		全国（公立）	
					物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域	自然現象についての関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
3(1)	野外観察で、「地層のつながりや広がり方」と「地層の成因」を調べるための技能において、着目する事象と観察の観点を選ぶ	「地層の連続性や成因を調べるために、断層の有無や地層に含まれている粒に着目する」という地層観察に関する技能を身に付けている														86.3	0.5	86.9	0.7
3(2)	地層観察の結果から、観察地における地層のつながり方を考察し、地層の傾いている方向を選ぶ	観察地における地層の広がり方について、観察地の図と観察結果から分析して解釈し、地層の傾きを認識して、その傾きの方向を指摘することができる														30.8	1.1	31.2	1.3
3(3)	地層観察の結果から、過去の火山活動が活発だった時期の回数についての他者の考察を検討し、適切な回数を選び、その根拠を説明する	地層などの知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数についての他者の考察を検討し、根拠を示して改善した考察を説明することができる														9.8	8.4	10.4	6.0
3(4)	ローム層の厚さと偏西風の影響の情報から、火山、観察地、中学校の位置関係を適切に示した模式図を選ぶ	火山灰の広がり方を考察する場面で、火山などの知識を活用し、偏西風の影響などの情報から、火山と観察地などの位置関係を推定することができる														46.9	1.8	48.3	2.2
3(5)	アサリの化石が含まれる地層が堆積した当時の生活環境を選ぶ	示相化石に関する知識を身に付けている														62.2	0.8	61.9	1.1
3(6)	「うすい塩酸をかけ、発生する気体を確かめる」という石灰岩を見分ける技能において、そのとき発生する気体の名称を答える	「石灰岩（石灰石）にうすい塩酸をかけると二酸化炭素が発生する」という石灰岩の見分け方に関する知識を身に付けている														77.3	8.9	73.4	10.2
4(1)	濃度10%の食塩水1000gをつくるために必要な食塩と水の質量を求める	「特定の質量パーセント濃度の水溶液をつくる」という技能を身に付けている														48.8	19.8	49.8	18.8
4(2)	実験で、古い卵が浮いたときの気室の位置と、卵のどがついている部分の位置を選ぶ	実験結果や卵の断面図を分析し解釈して、卵の構造を推定することができる														61.1	1.6	61.4	1.8
4(3)	実験結果から、食塩水の中で卵にはたらく浮力の大きさを求める式を書き、浮力の大きさを求める	浮力を理解している														33.7	44.4	36.2	40.2
4(4)	食塩水がいくらでも濃くできるわけではない理由を説明する	「いくらでも食塩水を濃くできるわけではない」という他者からの指摘を分析し解釈して、他者の考えの根拠を説明することができる														47.3	27.0	46.6	26.9
4(5)	和宏さん 食塩水のように、食塩の粒子のモデルで表したものを選ぶ	水溶液においては、溶質が均一に分散していることを粒子のモデルと関連付けて理解している														70.5	2.2	71.6	2.5
4(5)	望さん 液体のように（上部が水、下部が食塩水）を、食塩の粒子のモデルで表したものを選ぶ	液体のようすについて予想を立てる場面で、水溶液の知識を活用して、予想を粒子のモデルで表している図を指摘することができる														68.2	2.4	68.4	2.7
4(6)	二人の考えのどちらが正しいかを調べる実験の方法と、その実験を行ったとき、得られる実験結果として、正しいものを選ぶ	「水槽の中の液体が、食塩水の1層なのか、上層が水、下層が食塩水の2層なのか」ということを検証する実験を計画することができる														42.5	3.1	43.7	3.2

## 過去の調査問題との比較(国語)

過去の調査問題とは、平成19年度～平成23年度全国学力・学習状況調査における平成24年度と同一及び類似の問題を指す。  
各調査の問題の構成や難易度等が異なるため、単純な比較ができないことに留意する必要がある。

小学校国語において、A問題では類似問題が3問あり、そのうち、2問が全国との差が小さくなり、1問が全国との差が大きくなった。

また、B問題では類似問題が7問あり、そのうち、5問が全国との差が小さくなり、1問が全国との差が大きくなった。

中学校国語において、A問題では類似問題が4問あり、そのうち、2問が全国との差が小さくなった。

また、B問題では類似問題が3問あり、そのうち、2問が全国との差が小さくなった。

今年度の中学校第3学年が、小学校第6学年の時の調査問題(H21)との比較では、A問題では類似問題が5問、B問題では類似問題が2問あり、7問すべてで全国との差が小さくなった。

同一問題とは、平成24年度全国学力・学習状況調査解説資料で「(参考)」として示された、これまでの調査問題と「同じ問題」を指す。

類似問題とは、平成24年度全国学力・学習状況調査解説資料で「(参考)」として示された、これまでの調査問題と「関連のある問題」を指す。

道、全国の数値は、設問ごとの平均正答率を表す。

□の数値は、全道と全国の差を表す。

は差が小さくなった問題、は差が大きくなった問題、は差がなかった問題及び、過去の調査問題が複数ありどちらにも当てはまる問題を表す。

番号のAはA問題、BはB問題を指す。

全国の欄の斜線は、国が調査の実施を見送ったため全国の平均正答率がないことを示す。

### 過去の調査問題と類似問題の正答率

#### 【小学校国語】

番号	標準	H24問題の概要	道	全国	過去の問題の概要	道	全国
A2	小3 小4	話し手の話の内容を聞きながら書いた質問について、その狙いを適切に説明したものを選択する	62.1	65.2	H22 B3 三 聞き手が質問した内容に合う質問の観点を選択する	64.5	69.9
				□ -3.1			□ -5.4
A5	小3 小4	百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を取り出して書く	90.4	91.1	H21 A6 図鑑を読んで必要な内容をとらえる	74.1	78.7
			90.8	92.2			
				□ -1.4			□ -4.6
A7	小5 小6	新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く	38.8	43.2	H22 A4 メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書く	56.8	60.3
				□ -4.4			□ -3.5
B1 二	小3 小4 小5 小6	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する	51.3	55.2	H19 B4 二 客に対する勧誘の表現を適切に改めて書く	73.9	77.0
				□ -3.9			□ -3.1
B1 三	小5 小6	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置を適切に選択する	22.3	23.5	H21 A3 はがきの表書きに必要な事柄を選択する	65.7	67.0
				□ -1.2			□ -1.3
B2 一	小5 小6	参加者から出された質問の内容を適切に捉え、まとめごとに整理する	83.1	84.3	H19 B1 一 話し合いの内容を整理した司会者の発言を書く	60.8	62.9
				□ -1.2			□ -2.1
					H21 B2 一 話し合いの中で出された意見を二つの立場に分ける	71.7	75.5
							□ -3.8
B2 二	小5 小6	提示された資料を読み取った上で、相手に対して質問をしたい内容を明確にして発表するように記述する	47.1	52.6	H20 A7 グラフから分かったことをメモに取る	40.9	47.5
				□ -5.5			□ -6.6
					H21 B2 二 「そうじや整とんによく取り組んでいる」とする立場から自分の考えを発表する	22.0	25.7
							□ -3.7
B2 三	小5 小6	話し合いの目的を再確認し、計画的に話し合いを進めようとする司会の役割を適切に説明したもの	50.4	52.2	H21 A7 司会の進め方の良いところを説明する	62.6	68.0
				□ -1.8			□ -5.4

		を選択する			H23 B1 二(2) 司会の発言の意図を説明したものと適切なものを選択する	57.6	
B3 三	小5 小6	目的に応じ、複数の記事を結び付けながら読むとき、適切なものを選択する	56.3	57.6	H20 B3 一 「図書館だより」から、6年生が読書相談をすることができる曜日と時間帯を書く	34.5	39.2
				-1.3			-4.7
B3 四	小3 小4 小5 小6	二つの記事に書かれている内容を結び付けながら読み、理由となる事実を基にして自分の考えを記述する	34.2	37.7	H20 B3 二 「図書館だより」のグラフから分かったことを基にし、テーマや条件に即して自分の考えを書く	25.5	32.8
				-3.5			-7.3
					H22 B4 三つの時計の中から、条件に合ったものを選び、それを選んだ理由を書く	59.0	65.5
							-6.5

【中学校国語】

番号	学年	H 2 4 問題の概要	道	全国	過去の問題の概要	道	全国
A3 一	中1	「よく熟した夏ミカン」に対応する東京の情景を本文中から抜き出す	83.7	85.9	H20 A2 一 故事とその解説を読み、「虎」「狐」にたとえられている人物を選択する	61.6	64.3
				-2.2		55.8	58.9
							-3.1
A4 一	中1	「難易度が高くなるので」を聞き手に分かりやすい表現に直す	90.1	90.1	H19 A1 一 「満天の星」を聞き手に分かりやすい表現に直す	82.7	86.6
				±0			-3.9
A7 二 3	中2	漢字を読む（会議で決を採る）	71.0	73.8	H22 A10 三イ 同訓異字から適切なものを選択する（会議で決を採る）	40.4	43.2
				-2.8			-2.8
A7 七 2	中1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（あらはす）	93.6	92.6	H19 A4 二 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（小問2問）	92.1	91.8
				+1.0		77.8	76.4
							+1.4
					H20 A6 ハイ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（小問2問）	93.1	92.0
						84.9	81.8
							+3.1
					H21 A8 五1 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（むかひて）	82.3	75.9
							+6.4
B2 三	中2	祖母向けの説明書の一部を書く	66.7	68.4	H21 B1 三ア 子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の郷土資料コーナーの見出しを書く	54.2	59.1
				-1.7			-4.9
					H21 B1 三イ 子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の受付カウンターの役割の説明文を書く	75.3	76.6
							-1.3
					H22 A9 二 小学生に向けた案内文となるように適切な文を書く	56.6	60.9
							-4.3
B3 一	中1	物語について説明したものと適切なものを選択する	61.9	61.6	H19 A3 二 小説に描かれた場面と表現についての適切な説明を選択する	70.4	71.6
				+0.3			-1.2
					H19 B2 一 「蜘蛛の糸」を読み、その内容や表現についての適切な説明を選択する	78.2	81.3
							-3.1
					H22 A5 二 文章の表現の特徴として適切なものを選択する	74.2	75.7
							-1.5
B3 三	中1	朗読の仕方の工夫とその理由を書く	56.2	58.9	H19 B2 二アイ 「蜘蛛の糸」の一部分を朗読する場合の適切な工夫を選択する	65.3	68.5
				-2.7			-3.2

今年度の中学校第3学年が、小学校第6学年の時の調査問題(H21)との比較

【中学校国語】(H21 小学校国語との比較)

番号	標榜	H 2 4 問題の概要	道	全国	H 2 1 小学校国語の問題の概要	道	全国
A3 二	中 1	「この村の月は、まるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法の名称を書く	41.9	40.4 +1.5	小 H21 A5 文章の表現の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	55.6	58.7 -3.1
A7 二 3	中 2	漢字を読む(会議で決を採る)	71.0	73.8 -2.8	小 H21 A1(3) 漢字を読む(めずらしい植物を採集する)	76.6	80.0 -3.4
A7 五	中 1 中 2	はがきの表書きを書く	75.3	73.7 +1.6	小 H21 A3 はがきの表書きに必要な事柄を選択する	65.7	67.0 -1.3
A7 六 1	小 3 小 4	ローマ字で書く(たけくらべ)	88.3	88.8 -0.5	小 H21 A2_2 ローマ字で書く(たべもの)	43.3	45.5 -2.2
A7 六 2	小 3 小 4	ローマ字を読む(Tosa <u>nikki</u> )	80.1	81.9 -1.8	小 H21 A2_3 ローマ字を読む(happa)	44.9	51.9 -7.0
B1 三	中 1	これからどのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く	18.3	19.7 -1.4	小 H21 B2 二 「そうじや整とんによく取り組んでいる」とする立場から自分の考えを発表する	22.0	25.7 -3.7
B2 三	中 2	祖母向けの説明書の一部を書く	66.7	68.4 -1.7	小 H21 B1 一 報告文を読み、メモの中に調べた内容の1つめを書く	8.1	11.4 -3.3
					小 H21 B1 二 報告文のまとめとして、調べて分かったことを書く	13.9	17.7 -3.8

## 過去の調査問題との比較(算数・数学)

過去の調査問題とは、平成19年度～平成23年度全国学力・学習状況調査における平成24年度と同一及び類似の問題を指す。

各調査の問題の構成や難易度等が異なるため、単純な比較ができないことに留意する必要がある。

### < 同一問題 >

中学校数学において、A問題で同一問題が2問あり、2問とも全国との差が小さくなった。

### < 類似問題 >

小学校算数において、A問題では類似問題が11問あり、そのうち、8問が全国との差が小さくなり、2問が全国との差が大きくなった。

また、B問題では類似問題が1問あり、全国との差については、小さくなった年度の問題もあれば、大きくなった年度の問題もある。

中学校数学において、A問題では類似問題が16問あり、そのうち、14問が全国との差が小さくなり、1問が全国との差が大きくなった。

また、B問題では類似問題が2問あり、2問とも全国との差が小さくなった。

今年度の中学校第3学年が、小学校第6学年の時の調査問題(H21)との比較では、A問題のみ類似問題が3問あり、3問すべてで全国との差が小さくなった。

同一問題とは、平成24年度全国学力・学習状況調査解説資料で「(参考)」として示された、これまでの調査問題と「同じ問題」を指す。

類似問題とは、平成24年度全国学力・学習状況調査解説資料で「(参考)」として示された、これまでの調査問題と「関連のある問題」を指す。

道、全国の数値は、設問ごとの平均正答率を表す。

※ □ の数値は、全道と全国の差を表す。

○は差が小さくなった問題、●は差が大きくなった問題、△は過去の調査問題が複数あり、どちらにも当てはまる問題を表す。

番号のAはA問題、BはB問題を指す。

全国の欄の斜線は、国が調査の実施を見送ったため全国の平均正答率がないことを示す。

### 過去の調査問題と類似問題の正答率

#### 【小学校算数】

番号	指導学年	H24問題の概要	道		過去の問題の概要	道		全国
			道	全国		道	全国	
A1(1) ○	小3	1 3 2 + 4 5 9	95.4	95.7	H19 A1(1) 2 8 + 7 2	97.7	98.3	-0.6
					H20 A1(1) 1 3 2 - 1 2 4	90.8	93.0	
					H21 A1(1) 1 5 3 + 4 9	94.2	95.1	
					H22 A1(1) 2 4 3 - 6 5	83.4	86.9	
A1(2) ○	小4	1 4 8 ÷ 3 7	93.0	94.3	H21 A1(3) 2 0 4 ÷ 4	93.7	95.4	-1.7
					H22 A1(3) 9 1 2 ÷ 4	86.7	89.6	
A1(3) ○	小4	4. 6 - 0. 2 1	62.0	63.1	H22 A1(4) 8 - 0. 5	73.5	83.2	-9.7
A1(4) ○	小5	9 0 × 0. 7	88.0	90.8	H19 A1(2) 2 7 × 3. 4	81.4	85.5	-4.1
					H19 A1(3) 9. 3 × 0. 8	79.3	84.7	
					H22 A1(2) 2 7 × 3. 4	80.2	84.3	

○	A1(5)	小4	$6 \times 2 + 8 \times 3$	79.8   80.0 -0.2	H20 A1(5) $3 + 2 \times 4$	60.1   70.9 -10.8
					H21 A1(6) $80 - 30 \div 5$	55.8   66.8 -11.0
					H22 A1(6) $50 + 150 \times 2$	53.0   65.9 -12.9
○	A2(1)	小3	47000 は 1000 が何個集まった数かを書く	88.5   88.8 -0.3	H20 A2(1) 10を6個、1を8個、0.1を3個合わせた数を書く	87.3   89.4 -2.1
					H21 A2(2) 100を45個集めた数を書く	71.7   73.3 -1.6
○	A3(2)	小5	120 cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるとき、白いテープの長さを求める式を書く	39.8   41.1 -1.3	H19 A4 210 $\times 0.6$ の式で答えが求められる問題を選ぶ	48.3   54.1 -5.8
					H20 A4(1) 12 mのテープの長さは3 mのテープの長さの何倍かを求める式と答えを書く	77.9   83.0 -5.1
					H20 A4(2) 6 mのテープの長さは12 mのテープの長さの何倍かを求める式と答えを書く	50.4   55.5 -5.1
					H22 A2(1) 8 mの重さが4 kgの棒の1 mの重さを求める式と答えを書く	43.4   53.8 -10.4
●	A5(1)	小4	示されたはがきの面積は約何 $\text{cm}^2$ かを選ぶ	54.1   60.6 -6.5	H20 A6(2) 面積が約150 $\text{cm}^2$ であるものを選ぶ	14.3   17.7 -3.4
					H21 A3 千円札を長方形とみると、長い方の辺はどれくらいの長さか選ぶ	84.6   89.8 -5.2
○	A5(2)	小5	三角形の底辺に対応する高さを選ぶ	52.4   54.6 -2.2	H19 A5(2) 底辺6 cm、高さ4 cmの三角形の面積を求める式と答えを書く	81.8   89.4 -7.6
					H21 A6 方眼上の三角形の面積を求める式を書く	55.6   66.9 -11.3
●	A6(1)	小5	三つの角の大きさが $60^\circ$ 、 $80^\circ$ 、 $90^\circ$ である四角形の、残りの角の大きさを書く	72.8   76.9 -4.1	H19 A6(1) 2つの角の大きさが $75^\circ$ 、 $35^\circ$ である三角形の、残りの角の大きさを求める	81.2   83.7 -2.5
△	A8	小5	犬を飼っている8人が学級全体の人数の25%に当たるとき、学級全体の人数を求める式と答えを書く	51.2   58.3 -7.1	H20 A9(2) 620冊の本の40%の冊数を求める式と答えを書く	41.6   54.9 -13.3
					H21 A7 200人のうち80人が女子のとき、女子の人数の割合は全体の何%か選ぶ	53.8   56.9 -3.1
					H22 A9(1) じゃがいも畑の面積40 $\text{m}^2$ が、学校の畑の面積50 $\text{m}^2$ のどれだけの割合に当たるかを書く	44.7   57.4 -12.7
△	B5(3)	小4 小5	示された表から、合計の人数を基にした乗れる人数の割合は、男子と女子ではどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く	19.3   23.3 -4.0	H19 B4(1) 木曜日と日曜日に安売りをするケーキ屋で指定されたケーキを買うとき、どちらの曜日がいくら安くなるかを求める式と答えを書く	20.5   29.2 -8.7
					H20 B2(3) 米の生産額について、「割合が減っているから、生産額は減っている」という考え方が正しいかどうかを判断し、そのわけを書く	13.3   17.3 -4.0
					H21 B5(3) 4月と6月の全体の重さを基にしたペットボトルの重さの割合の大小関係をとらえ、判断のわけを書く	14.5   17.7 -3.2
					H22 B5(2) 割引券を使うと値引きされる金額が最も大きくなる商品を選び、そのわけを書く	10.5   17.1 -6.6

【中学校数学】

過去の調査問題と同一問題の正答率

番号	指導年	H24問題の概要	道	全国	過去の問題の概要	道	全国
A6(2) ○	中2	n角形の内角の和を求める式で、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	45.5 -0.2	45.7	H20 A6(2) n角形の内角の和を求める式で、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	44.7 -1.4	46.1
A10(1) ○	中1	反比例の表を完成する	44.9 -3.9	48.8	H19 A10(1) 反比例の表を完成する	40.7 -5.5	46.2

過去の調査問題と類似問題の正答率

番号	指導年	H24問題の概要	道	全国	過去の問題の概要	道	全国
○	中2	$(7x+5y)-(5x+2y)$	79.4 +1.8	77.6	H19 A2(1) $(2x+7y)-2(x-3y)$	65.8 -7.1	72.9
					H20 A2(1) $(5x-8)-2(x-3)$	79.6 -2.9	82.5
					H23 A2(1) $(4a-6)-2(a-3)$	80.0	
△	中1	x = 3のときの式 $-x^2$ の値を求める	61.6 -4.7	66.3	H19 A2(2) a = 5、b = -4のときの式 $3a + 5b$ の値を求める	78.7 -4.4	83.1
					H20 A2(2) a = 4、b = -3のときの式 $ab$ の値を求める	61.9 -8.8	70.7
					H22 A2(3) x = 3のときの式 $12/x$ の値を求める	86.9 -3.4	90.3
A2(3) ●	中1	整数aを用いて、式 $2a$ で表すことのできる数を選ぶ	32.9 -3.7	36.6	H21 A2(2) nが負の整数のとき、最も大きな数を選ぶ	63.0 -3.3	66.3
○	中2	連立方程式 $\begin{cases} a + b = 8 \\ 2a + b = 11 \end{cases}$	78.8 -1.7	80.5	H19 A3(4) 連立方程式 $\begin{cases} 5x + 7y = 3 \\ 2x + 3y = 1 \end{cases}$	67.3 -4.6	71.9
					H20 A3(4) 連立方程式 $\begin{cases} y = 3x - 1 \\ 3x + 2y = 16 \end{cases}$	71.9 -4.8	76.7
					H21 A3(4) 連立方程式 $\begin{cases} 2x - 3y = 1 \\ 3x + 2y = 8 \end{cases}$	69.9 -2.9	72.8
					H22 A3(3) 連立方程式 $\begin{cases} 3x + 2y = 9 \\ x + y = 4 \end{cases}$	73.2 -5.1	78.3
					H23 A3(4) 連立方程式 $\begin{cases} y = 2x - 1 \\ y = x + 3 \end{cases}$	65.6	
○	中1	一次方程式を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	77.1 -1.4	78.5	H19 A3(1) 一次方程式を解くとき、移項の意味を選ぶ	56.7 -4.1	60.8
					H21 A3(1) 一元一次方程式を解くとき、等式の性質を選ぶ	65.1 -3.2	68.3
A4(3) ○	中1	中心角 $120^\circ$ の扇形の面積について正しいものを選ぶ	67.4 -1.6	69.0	H21 A5(4) 中心角 $60^\circ$ の扇形の面積について正しいものを選ぶ	52.3 -4.1	56.4
A6(3) ○	中2	与えられた三角形と合同な三角形を選ぶ	62.4 -4.4	66.8	H20 A6(3) 与えられた三角形と合同な三角形を選ぶ	59.7 -5.0	64.7
A8 ○	中2	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	63.1 -1.3	64.4	H20 A8 証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	55.9 -1.7	57.6
A9(1)	中1	yがxに比例し、比例定数が3のとき、x、yの値について、	50.3 -1.5	51.8	H21 A9(1) $y = 3x$ について、正しい記述を選ぶ	51.7 -2.0	53.7

○		正しい記述を選ぶ			H22 A10(1) $y = 3/x$ について、正しい記述を選ぶ	44.9	48.8	-3.9
A9(2) ○	中1	$y = 2x$ 上の点を選ぶ	50.0	49.8	H22 A9(2) $y = -2x$ 上の点を選ぶ	36.8	40.4	-3.6
A10(2) ○	中1	反比例のグラフを選ぶ	50.8	52.2	H19 A10(2) 反比例のグラフを選ぶ	65.9	67.9	-2.0
A11(1) ○	中1	$(-1, -4)$ の位置を座標平面上に示す	61.4	61.0	H21 A9(2) $(2, 3)$ の位置を座標平面上に示す	75.6	77.1	-1.5
A11(2) ○	中2	一次関数のグラフから式を選ぶ	71.9	72.0	H22 A11(2) 一次関数のグラフから式を求める	53.4	55.2	-1.8
A12 ○	中2	一次関数を表した事象を選ぶ	38.0	37.9	H19 A11(1) 一次関数を表した事象を選ぶ	60.3	63.8	-3.5
A13 ○	中2	二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ	40.6	38.8	H20 A3(3) $x - y = 1$ の解の個数を選ぶ	58.0	58.0	$\pm 0$
					H21 A12 $2x + y = 6$ の解を座標とする点の集合がどのようになるか選ぶ	35.4	35.9	-0.5
A14(2) ○	中2	数字の書かれた3枚のカードから2枚のカードをひくとき、両方とも奇数のカードである確率を求める	58.2	57.4	H20 A15(2) 赤玉3個、白玉2個の中から玉を1個取り出すとき、その玉が赤玉である確率を求める	72.3	74.6	-2.3
					H21 A13(2) 大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が7になる確率を求める	53.5	57.1	-3.6
					H23 A13(1) 2枚の硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	48.4		
B2(1) ○	中2	連続する3つの自然数の和が3の倍数になることを説明する	35.0	36.3	H19 B2(2) 連続する5つの自然数の和が5の倍数になることを説明する	37.4	40.9	-3.5
					H20 B2(2) 2桁の自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和が11の倍数になる説明を完成する	32.1	38.6	-6.5
					H23 B2(3) 連続する5つの自然数の和が中央の自然数の5倍になることを説明する	54.5		
B2(2) ○	中2	連続する3つの偶数の和について成り立つ事柄を表現する	53.2	55.3	H20 B2(3) 2桁の自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との差について予想した事柄を表現する	41.9	48.0	-6.1

今年度の中学校第3学年が、小学校第6学年の時の調査問題(H21)との比較

【中学校数学】(H21 小学校算数との比較)

番号	指導学年	H24問題の概要	道	全国	H21小学校算数の問題の概要	道	全国
A1(3) ○	中1	数直線上の点が表示負の整数の値を読み取る	66.0	66.4	H21 A2(1) 数直線上に示された1万より大きい数を読み取る	60.8	64.1
A2(3) ○	中1	整数 $a$ を用いて、式 $2a$ で表すことのできる数を選ぶ	32.9	36.6	H21 A2(4) 整数の中から偶数を選ぶ	72.2	77.4
A6(2) ○	中2	$n$ 角形の内角の和を求める式で、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	45.5	45.7	H21 A5(1) 四角形を1本の対角線で2つの三角形に分けたときの、四角形の4つの角の大きさの和を求める式を書く	61.6	67.9